

**GHQ/SCAP Records (RG 331, National Archives and Records Service)**

**Description of contents**

- (1) Box no. 2912
- (2) Folder title/number: (8)  
Dobo Engo-kai

(3) Date: Mar. 1949 - Aug. 1949

(4) Subject:

Classification	Type of record
9760	c, p, s

(5) Item description and comment:  
Kochi

(6) Reproduction:  Yes  No

(7) Film no.

Sheet no.

(Compiled by National Diet Library)





財團 高知縣同胞援護會  
**ニユース**  
 (青蘭會特集號)

No. 7

昭和24年5月1日發行

發行所  
 高知市相生町78番地  
 財團高知縣同胞援護會  
 (電話826番)  
 編集發行人  
 高橋正統

そ母なればこそこの熱意

未亡人なればこそ

## 母子會縣連準備會

三月三十日村の家會館で

高知縣同胞援護會が提唱する施設なき母子寮「青蘭會」の設置運動は、四國の邊陲土佐の寒村より起り、未亡人たちの立ち上がる希望の道として、今早く同じ運命の下にある未亡人にわか

## 母子會連盟運動のために

事務局長 桂井和雄

戦争中も戦後もその儘に無理強いにされた境遇を持ちつづけて、世代の痛苦を一身に受けて、肉共に苦難の明暮を過して、目隠しをされたまま、嵐の中を彷徨する母難たちの姿にも似た未亡人と言ひ寡婦と呼ばれる女性たち、その數百八十八万四千、縣下三万五千と數えられておられますが、これらの方々の聲なき叫び、その日の生活と精神的な問題は、新國家建設途上に横たわる民生安定の上に棄て、置けない敗戦國家の重要問題の一つと思つておられます。

女子であつて、その者の監護すべき児童の福祉に欠けるところがあると認めるときは、その保護者及び児童を母子寮に入所させて保護しなければならぬ。

と明記してありますが、全國母子寮數はわづかに百六十餘收容世帯一万三千にすぎず、高知縣にしてみれば母子寮三ヶ所收容世帯百に満たない現状にあるのでございます。而も今日の母子に於ける福祉法唯一の簡條であるこの二十三條に、「附近に母子寮がない等やむを得ない事由のある時は、この限りでない」とはつきり斷つてあるのでございませぬ。斷はられる數があまりに多すぎるともございませぬ。

高知縣同胞援護會が、一昨年來提唱して参りました「施設なき母子寮(青蘭會)設置運動」は、實にこの法の足らざる部面の補完を目ざしたものでありまして、その根柢には封建性に束縛つて援助され高知市を中心にして寡婦

國に生活困窮者のための生活保護法があり母子のための児童福祉法があつたとしても、その適用は一部の未亡人に限定され、決して世の多くの未亡人たちの心の糧になるまでの運用の妙は到底望むべきもありません。児童福祉法はその第二十三條に

市町村長は、保護者が、配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある

高知放送局放送課長、高知縣婦人團體代表の臨席の下に、活潑な意見の交換、縣に對する要望決議などが行われ、豫期以上の成果を収めた。

午前十時授護會前田主事補の開會の挨拶に始まり、桂井事務局長の別掲の如き今日の會の趣旨の説明あり、次いで來賓の激励あり、知事代理として林民生部長よりは要約左の如く激励の言葉があつた。

「知事に代り挨拶をする。若くして刑の道を通つてゐるか弱き女性に與えられた苛酷の運命に苦しむ婦人は、青蘭會の運動で光明を見出した。多くの婦人の中には理性を失ひ倫落の淵に或は力を失つて死を急ぐ者もある。又封建性の下に苦しむ者もあるのを知つてゐる、同じ境遇のお互い同志懇め扶け相互會の名で暫く活動を續けて参つたのであります。人数のみ多くして幹部のみの活動に止まり、會員個々の繋りに於いては残念ながら失敗した經驗を持つてゐるのでございませぬ。

然しながら町村單位に起つたこの度の運動展開は、會員相互のつながりもよく活動のみるべきもの、あるのはこれから會員代表者たちの御報告によつてもお判り願ふと思ひますが、まだまだこの運動の一般的な理解を得るには相當困難なものであるでございませぬ。

こゝに児童福祉法一週年を記念して高知縣の協力を得、既設青蘭會代表者たちが、自らの盛上る聲としておたがいの横の連絡をとるためにこゝに會し、青蘭會運営の自主化、連絡と協力、母子及婦人保護精神の啓蒙をめざし、未設置町村への呼びかけを活潑ならしめる運動展開のために高知縣母子會(假稱)連盟の結成準備會を開くに至つたこと、私の心からの喜びとするのでございませぬ。母子の苦難解放の曙光は今こゝに明り、町に村に未亡人の行手に希望の生れるよう、今日の日に幸あらんことを祈つてやませぬ。

あり事が如何に大きな力となるものであるか、それは皆さんの結合によつて明かに説明されつゝある。人權尊重の憲法下ひとり未亡人だけ不幸であることは許されぬ、この會が縣下に續々出来る事は喜びに堪えない、高知縣の青蘭會が全國の模範となるよう自重自愛を祈る。」ついで

橋詰縣會議員より挨拶があり、「日本は封建性の氣風が深い、十九世紀は女の發見であり二十世紀は子供の世界だといふが子供の爲の施設が少い、児童福祉法施行一週年記念にこの會の出來た事を喜ぶ、青蘭の名にも皆の今後の活動を期待するものである。女性の犠牲は敗戦の一番の犠牲である、此の世相の中に相愛の手を振り強く子供の爲に生きてほしい、子供は大人の父といふ諺がある、皆の手により封建性の霧がはれ健康にして希望ある母たちの今後の活動を期待する。」

本會理事高崎市子女史からは、「日本は全身大火傷を負つたとみるならば一番ひどい部分が未亡人である。上べの治療として貰つたものでは忘れられた傷がだん／＼深くなつていく、傷んだ身を自分の力で治そうとする力を見出す事の出來たことを喜ぶ。男女同權とはいふ、乍ら一線に立たねばならぬ皆様に無差別ではない、教育でなく藤の連絡をとり力を出し合つて前途に確信をもつて進むことこそ日本女性の眞の解放が實現されるのである。私共の手で戦争を防止し平和を築くよう、その推進力となり日本の爲土佐の名をも挙げ、青蘭會を土台として進發したい、苦しむときこの横の連絡のある事を考え努めてほしい。」

次いで山本高知縣同胞援護會長より別掲の如き激励の言葉があつて引きつゞき參會者の自己紹介があり協議懇談に移つた。先づ座長に推舉された土居村青蘭會長門田小菊氏座長席に着く。青蘭會活動状況報告並今後の運営について別掲の通り各青蘭會長より活潑な

あり事が如何に大きな力となるものであるか、それは皆さんの結合によつて明かに説明されつゝある。人權尊重の憲法下ひとり未亡人だけ不幸であることは許されぬ、この會が縣下に續々出来る事は喜びに堪えない、高知縣の青蘭會が全國の模範となるよう自重自愛を祈る。」ついで

橋詰縣會議員より挨拶があり、「日本は封建性の氣風が深い、十九世紀は女の發見であり二十世紀は子供の世界だといふが子供の爲の施設が少い、児童福祉法施行一週年記念にこの會の出來た事を喜ぶ、青蘭の名にも皆の今後の活動を期待するものである。女性の犠牲は敗戦の一番の犠牲である、此の世相の中に相愛の手を振り強く子供の爲に生きてほしい、子供は大人の父といふ諺がある、皆の手により封建性の霧がはれ健康にして希望ある母たちの今後の活動を期待する。」

本會理事高崎市子女史からは、「日本は全身大火傷を負つたとみるならば一番ひどい部分が未亡人である。上べの治療として貰つたものでは忘れられた傷がだん／＼深くなつていく、傷んだ身を自分の力で治そうとする力を見出す事の出來たことを喜ぶ。男女同權とはいふ、乍ら一線に立たねばならぬ皆様に無差別ではない、教育でなく藤の連絡をとり力を出し合つて前途に確信をもつて進むことこそ日本女性の眞の解放が實現されるのである。私共の手で戦争を防止し平和を築くよう、その推進力となり日本の爲土佐の名をも挙げ、青蘭會を土台として進發したい、苦しむときこの横の連絡のある事を考え努めてほしい。」

次いで山本高知縣同胞援護會長より別掲の如き激励の言葉があつて引きつゞき參會者の自己紹介があり協議懇談に移つた。先づ座長に推舉された土居村青蘭會長門田小菊氏座長席に着く。青蘭會活動状況報告並今後の運営について別掲の通り各青蘭會長より活潑な



報告があり、一つく臨席者をうなづかしめた。

正午休憩、記念撮影、終つて縣より厚意による食事をすまし、物資頒布陳列、編物賞見學等をなし午後二時再開、縣に對する要望の附議に移つた。別府村小野壽子會長、健康保險制度を未亡人に考へてほしい。

小高坂區原典子會長、母や子の爲の家、兒童福祉法による母子寮や婦人寮を増設してほしい。

室戸岬町山下美根會長、市に施設が集中している、地方にも設置してほしい、母子寮の方々にあるように無償或は低廉な物資の頒布を願いたい。

これに對し縣側より窪田兒童厚生課長左の通り答へた。

一、保險問題、これに對して縣下に保健所あり、困窮者の爲には醫療扶助がある。即ち妊産婦、乳幼児の保險の爲に町村長より手帳を交付している。

醫療扶助の方は要保護者、又は獨立出来ないもの、獨立性があつても病氣している者等に適用される。この範圍は町村長と民生委員に申出られたり、醫療措置は大体認められてゐる。現在多額に出している。又國民健康保險制度がある。

二、母子寮、婦人寮増設問題、經費の問題で思ふようにはいかぬ物資配給については生産増強により漸次やりたいと思ふ。

三、社會施設地方設置について、町村の輿論を起してほしい。

在所村北村春子會長、母子會連盟を一つの社會福祉厚生機關として認めて貰いたい。

縣厚生課長、團體としては認めるが法によるといふことは基本法に無い、大きな團體として尊重し助成發展せしめたい、安心してほしい。

馬ノ上村藤戸香副會長、農村収入は未亡人の場合少い(人夫賃が)それ

に税が高く保有米の中より納税する、供出と納税に苦しんでいる、どんなに頑張つても限度があるので希望をもつて働きたい。

縣厚生課長、部落査定の場合會として申入れ協力方要望せられたり、所得税の減免は連盟として大いに努力せよ堂々とやられたり。

日章村入交照子會長、反當半役二千圓かゝるので村長の証明書をつけて税務署へ申告した。

森村千頭小史會長、供出報償物資に主人が居らぬ爲正月酒は配給されなかつた、同じ努力に對して同じ配給をされたい。

縣厚生課長、部落でそれ／＼違ふ、異議を申立てるようにはされたい。

吉良川村松本善女會長、男に酒があれば女には女に適した報償物資を出されたい。

と發言し、又高知市の全地區に會の結成を急げ、中心都市の高知にこそ強力な運動の展開を必要とする。

と市内未亡人の激起を強調。

別府村小野壽子會長、縣で優良映画を世話して無料でやつてほしい。

縣厚生課長、巡回映画を考へてゐる前田主事補、縣兒童巡回文庫を青蘭會にも廻してほしい。母と子の教育の爲健全な映画を提供してほしい、又、多子未亡人の子女の學校給食を自由にしてほしい、後援會費は減免していただくようその筋へ連絡して頂きたい。

縣厚生課長、適切な要望である希望に應じて早速巡回文庫を考へたい、市内十ヶ所の本を順次廻してもよい。子供達の爲の映画館設置の計畫もある。給食費や後援會費などは青蘭會から働きかけられたり。

吉良川町松本善女會長、社會保障として未亡人に年金制度を確立するよう

中央に具申せられたり。

縣厚生課長、承知した、縣出身代議士等に對して政治的にも働きかけるよう努力する。

斗賀野村森田豊子會長、物資を村の要保護者にも廻して頂きたい。

縣厚生課長、これは特定のものにか出さない、施設のものに對象になつてゐる。

以上一時間半にわたる要望討論を打ち、座長は本會議の決議として縣に要望したいと語り、一同拍手によつて賛成ついで。

母子會連盟結成を附議し、規約並に勸業文案の審議に入り別掲を決定、準備委員(五名位)を推薦して強力に推進してゆくことを決定した。

大會の日取り決定は、何時がよいか萬國母の日にするかの座長の間に對しては、夜須町喜井壽子會長は農村は忙がしいので考慮してほしい、又高知市全体に結成され縣下町村に過半数結成されてからでもよいではないか。と發言し、在所村北村春子會長は、早く連盟を造ることが皆が加はしてくることになつてよいと思ふ、の兩論にわかれたが、結局未設置各町村への勸奨につとめ結成式には澤山集めることが必要だから市内の未設置地區を早急に結束させ適當な時機を選ぶことに決定。次いで母の日の運動について縣兒童課藤平首席より、授養會と協力してやりたい五月中に都市別に兒童相談所を臨時開設したい考へであるので協力をねがうとの詳細趣旨の説明あり、一同協力を決議した。

豫定の時刻を過ぎ午後四時半別府村小野壽子會長より、來賓に對して奮起を促してくれた事を感謝し今後とも協力御期待にそうことをお誓ひしますとの辭をのべ、會員に對して、こんどの會合で昨日までよりは今日からがもつと力強い心持がする。未設置町村へは早くこの喜びを知らせて結成を進めたい、との閉會の挨拶があつた。

山本高知縣同胞援護會長

激勵

縣連結成準備會に於いて

敗戦後の社會情勢の窮迫化は、幾多社會犠牲者を生んだのでありますが、その中の最大なもの是一家の支柱を失つた家庭であります。何ものにもかえ難い夫を、父を失うという事は、精神的にも經濟的にも言ふに言われぬ苦しみのあります。このインフレ下に迫る未亡人のいばらの途は、しみじみと敗戦の現實というものを思いしらされるのであります。

この御不幸な方々のために、力強いよるべの役を果す使命を負つています高知縣同胞援護會といたしましては、昨年来全國に廻つて母子未亡人の問題をとり上げ「施設なき母子寮設置運動」を提唱し、さき程桂井事務局長よりその趣旨經過等を詳細説明いたしました通りであります。

皆様はこの運動に他町村に先んじ、賛同され、早々に結束をかためられ、それ／＼の御活動をつづけられていら

るのであります。このことは只に、皆様の幸福であるばかりでなく、祖國再建に眞面目な大きな貢獻をなされてゐることでありまして、衷心より敬服に堪えない次第であります。

特に皆様幹部の方々におかれましては、會のために自分のことを犠牲にされて迄、御心配をなされていられることを承り、その尊くも亦聖なるお姿に感激せずにはいられません。

濁り切つています今日の世相の中に、この上もなく美しく、毅然として愛兒の手を握り、雄々しく立ち上つていられる會員の方々の強い氣高い御姿にも亦、感服の涙さえ覚えるのであります。

新しき日本憲法は、日本女性に新時代に生きる途を示したのであります。が、封建性の色濃き祖國の風潮は、未だ未亡人に對する理解乏しく、昔ながらの冷たい環境の中に淋しく生活しておられるのであります。

生活苦のため親子心中する悲劇を生んでいますもの、社會の冷たさからであり、同胞援護の温い手の足らざるためであり、私共、社會事業にたづさわものとして深くその責任を痛感させられるものであります。

皆様に強く希望に生きるため、同じ境遇の方々と結び合ひ互に慰め勵まし扶けあひ、樂しみ悲しみも共に分かち合つてこの苦しい社會を生き抜かんとする勇氣を、この團結によつて得られたのであります。

自分一人が救われていけばよいという觀念でなく自分の余る力は足りない他會員のために捧げつくすことこそ會を強くする丈でなく、ひいては同胞相扶の氣風を社會全般に示す大きな教訓であるのであります。

縣下に未だこの喜びを知らぬ未亡人が多くありますことを誠に遺憾に存するのであります。

未亡人の會即ち青蘭會の結成が、縣下全町村に及ぶ日の一日も早からんことをねがつてやまないものであります。

各町村個々の組織が縣全体に結び、横の連絡を整え共に活動状況を語り合ひ激勵し合うため今日縣連盟の結成を準

備することは、當然の歸結であります。大きな飛躍でもあります。幸いにして縣の關係方面の絶大な協力と期待を戴いてあります。これは何よりも力づけであります。高知縣同胞援護會といたしましても、提唱者として最大の協力を惜しまないのであります。本日のこの會に於きまして、御遠慮のない御意見を御發表願ひ、今後私共の方におきまして計畫し又實行いたしまし事業上に資料の御提供を御願ひいたします。

重ねて申し上げたいのは、縣連盟組織の基礎となる市の區、町村單位組織の整備強化が當面の緊要事であるといふこととであります。皆様の手により、努力により、この單位組織の整備強化を實現することを期待してやみません。

この完備した組織の上に、連合されることによつて始めて、強力な結合がなされるのであります。高知縣を發祥の地として、日本全國に範を示し、生活權の確保と、封建性の打破に、堅實にしてはなばなし前進を、心から期待し御挨拶いたします。

この日には大人も子供もみんな胸にカーネーションの花をつけましょう

親は子供のために生きるもの、子供は親の性格を選ぶ権利がある

五月八日母の日「お母さんありがとう」

この日には大人も子供もみんな胸にカーネーションの花をつけましょう



の趣旨を説明した通りであり、皆はこの運動に他町村に先んじ、賛同され、早々に結束をかためられ、それらの御活動をつづけていられたるのではありません。

をねがうてやまないものであります。各町村個々の組織が縣全体に結び、横の連絡を整え共に活動状況を語り合い、激励し合うため今日縣連盟の結成を準備する。

の確保と、封建性の打破に、堅實にしてはなばなしの前進を、心から期待し御挨拶いたします。

# 五月八日母の日 お母さんありがとう

この日には大人も子供もみんな胸にカーネーションの花をつけよう



## 縣連結成準備會に於て代表者 たちは未亡人の立場につき 左の如く縣に要望した

- 一、未亡人に對する健康保険制度を確立せられたい
- 二、母子に對し母子寮、婦人ホームを増設せられたい
- 三、社會施設を地方にも設置せられたる
- 四、供出數量割當に當り未亡人の窮狀立場を認識され適正に決定せられたる
- 五、未亡人に對する税の賦課はその實情を詳細に調査し適正を期せられたる
- 六、供出報奨物資に未亡人と一般を區別せず同じ努力に對しては同じく報奨をなされたい。尙男の努力に報ゆる物資に代り女性の努力に報ゆる適
- 七、當な物資を特配せられたい
- 八、兒童巡回圖書を町村青蘭會にも廻していただきたい
- 九、母子の教育のために健全なる映畫館を設置せられたい
- 十、多勢の子供を抱えた未亡人には學校給食、後援會費等に負擔を感じる事あり、これに對し自由制或は減免を考へていただきたい。

吉野村(川村行尾) 現在七十五名、賣店を經營し又學校寄附金募集等に從事した。

安藝町(長崎雪見) 現在頒布による収入で會員をうるほしている。

別府村(小野壽子) 現在會員二十名、經濟面は再婚したも

のから寄附を頂き又復員者より後援會費を貰った、集會は大抵夜間にしている。そしてその出席率は百パーセントである。

未亡人の願いは仕事を興えてほしいといふこと。信仰に生きることが未亡人にとつて必要でないかと思う。永井先生の「この子残して」の氣持を考へる、村内未加入會員の入會申込が増えるのは嬉しいが再婚によつてその數を減ずるのは更に喜びである。

和食村(會長代理筒井富喜) 物資頒布等をして基金を作り追々事業をやりたいと思ふ、各地の活動の様子を伺つて大變参考になつた。

森村(千頭小史) 昨年十月結成され一人再婚し現在五十二名の會員である。その中戦争未亡人は三十二名もいる。扶助を受けている者七名、子供は一四〇名である。職業は大抵農業で四十三名である、レベルが低いので精神的に生きるよう指導している。家庭訪問や再婚の推進、又卒業、入學の時の祝品を贈つたりしている。

斗賀野村(森田豊子) 一月に發會したばかりで今のところ何も事業をしていない。會員は四十名あり、時折講習會をやつている。皆様に敬愛していただきたい。

夜須町(喜井壽子) 會員百十四名兒童二百十五名あり、合同葬には主催となつた。この會のあり方について一般町民の理解に感謝している。染色講習會や慰安會を開催した。基金造成の爲、會の店を作り製織機を購入し會員を働かせている。入學祝

## 各地青蘭會活動狀況

### 縣連結成準備會で發表

長者村(四森文子) 結成されて一年になる。昨年五月以來引揚復員の出迎え慰問をなし、會員の子弟の中から盲啞學校に四名を世話して入學させた。ペザを開催し共同作業をなし、労働交換により相互の仕事を手助けし、又再婚推進に努めている。將來については事業をやる爲基金をつくりたい、團結を強固にして明朗にしたいと思ふ。

室戸岬町(山下美根) 會員九十一名、その中で生活保護を受けている者十一名、會員の半數は日傭労働に従事している。賣店や自轉車預り所をして四千圓をあげ各會員に分けた。一人三日間で三百圓づつの割になつた。病氣見舞を実施している。將來

吉良川町(松本善女) 昨年七月結成され會員六十二名、救濟事業として産婦製作所を設置し九月一日より開始した。これで生きる會員の活動はめざましい、現在十三名の從事

母の日に寄せて

青き山々  
大いなる空  
しづきする海々  
遠くへだつとも  
母はつねに  
まぼろしに生きて  
ふるさとの  
わが家の庭に  
老いています  
母の日に母の花  
胸に飾りて  
浮かぶ思ひは  
心のふるさと  
母の愛よ  
なつかしきかな  
(桂井和雄氏作)

會の力によるところ多く精神的に立ち上つてくれた。圖書の回覧を実施し精神的に啓蒙につとめていく。購入資金が缺乏して苦しい、在所村には後援會が出来ていて、すべての純益は五分を會の基金にしていく、子女の純血運動をやりたい。

講演會を月二、三回開き修養の糧としたい、會員皆で護國神社に参拝し高知市内の社會事業を視察したいと計畫している。

日章村(入交照子) 昨年十月結成され現在八十九名あり、内扶助を受けている者四名、兒童百六十四名の子供があり、運動會、學藝會に賣店を開き基金一萬圓を作つた。洋裁の無料講習をなし落雁の作り方講習會、慰安會を開催し先日杉の苗圃を半反歩作つた。將來高知大學に必要とする仕事は總べてこの會でさせて頂きたいと考へている。

伊野町(村井絹子) 去年六月發足した、有志の寄附により洋裁講習や慰安會をなし基金を作る爲に藝能大會を四月一日に催す豫定である。又青少年不良化防止、兒童福祉法に關する講演會を開きたいと思つている。

鏡村(代理四村初猪) 本月結成されたばかりでこれから大いにやりたいと思つている。

越知町(大原鯉鮒美) 昨年八月結成し會員九十一名、内扶助受給者十一名、兒童數百四十一名あり町民生部から二千圓、町豫算から一千圓の寄附、映畫開催によつて一萬六千圓、その他物資頒布等によつて計二万

子供は母の鏡、母の性格は子供にうつる



圓の基金がある。病氣會員を見舞い歸還英靈に弔慰金を出し入卒業兒童十七名にお祝いの品を贈り困窮者の爲には主食購入費を立替えたりしている。

八月に結成され民生委員の世話で一萬圓を得たのでこれを基金にして養豚を始めた。喫茶店を開業し町授産所のミシンを活用し更生や加工をやっている

將來アンゴラ兎、羊を飼育し授産所を經營したいと思つてゐる。高知市小高坂區(原典子) 本年成人の日に結成し會員百六名あり

尾主事補 二月十四日 西分村(結成準備) 西尾主事補 二月二十二日 日章村(總會) 桂井局長、前田主事補

婦人ホーム 子供の家落成 事務局の裏に瀟洒なそして明るい婦人ホーム、並に併設子供の家が新築された。南向の八疊十疊が子供室婦人室二

間、食堂、應接室、職員室等、木の香も新しく見るからに清潔な明るい家である。 総工費七十六萬圓。これは兒童福祉法による満十八才迄の女子と生活保護法による更生の見込ある四十才迄の婦人のための憩いの家である。

青蘭會のために 事務局員の動き

十二月十三日 斗賀野村(結成式) 桂井局長海路主事補、前田主事補 十二月二十日 加茂村(結成準備) 前田、西尾兩主事補

二月八日 神谷村(結成準備) 前田主事補 二月十三日 赤野村(結成準備) 西尾主事補 二月十四日 西分村(結成準備) 西尾主事補

三月五日 夜須町(役員會) 西尾主事補 三月十八日 大杉村(結成式) 桂井局長、前田主事補(縣兒童課、補目福社司)

四月十三日 夜須町(苗圃指導) 久野囑託 四月十八日 川内村(結成式) 桂井局長、高橋課長、前田主事補 四月二十日 夜須町(活動狀況視

察) 前田、西尾兩主事補 四月二十七日 加茂村(結成式) 桂井局長、高橋課長、前田主事補

その後の代表 者の聲

此の度は川渡青蘭會より四名も出席致しました。おかげ様で恵まれた数日を過ぎさせていただきましたことを厚く感謝致しております。何もかも苦しみをお忘れさせていただいた楽しい数日でございます。出席出来なかつた他の會員の皆様にも本當にすまなく思つております。こんなにも私たちが未亡人の力になつていただけたと思つてますと新たな勇氣が生まれてくるように思つてます。これから又精出して働きます。次の集いを楽しみに待つております。

別府村 小野壽子 はじめてお目にかかつた方々も何だか昔からのお友達のように思われまして一日も早く私共の團體である母子連盟が生まれますよう、縣下の村に町に青蘭會が一つでも多く生まれますよう協力させて頂きたく存じます。

東川村 高橋喜代美 先生方の御力によりまして今後の私たちが必ず光明の彼岸に近づく事と嬉しく此の會に大きな期待を持つて居ります。私は婦人會の方のお世話も致して居りますが、青蘭會の方が眞剣で又知識も高いと存じます。

森村 千頭小史 何かにつけてもすぐ沈みこんでしまいがちな私共の背負わされたこの大きな哀しみと一生懸命戦つております

私たちはあの日遠く東西から多数集つて來られました皆々様の御日常をお伺い出來まして又一層の力を得ました事を本當にうれしく存じます。自分程不幸な者はないと、この大きな苦しみを負けそうなる時々ございましたがこの頃では私などまだ、幸せな方である事が分り、毎日感謝の生活の出來るようになりました事を有難く存じております。

東川村 山崎郷子 本當に思いがけない楽しい意義深い二日でございます。心から打とけ合つて何の遠慮も氣兼ねもない同じ境遇の方々の集つた一夜の宿泊、涙の出る程笑つたあとに心の中を幾年ぶりにみまほされた感じがいたしました。年上の方々からは又数々の教訓をうけて本當に嬉しく心を新しくし新しい力の盛上る感じが致しました。

馬ノ上 藤戸 香 何分にも會に始めて参りましたような私でございます。皆様の御体驗其の他有意義なるお話を伺い自分の力なさを心から恥じました。私はあれほど迄に會の向上隆昌に力を致して居ります皆様の御心に涙の禁をざるを得ませんでした。向南寮の合宿はとて明瞭で當村會員の皆様にあの氣分にひたせられたといつても思ひ出になります

土居村 門田小菊 青蘭會の文化叢書 授産會の文化叢書 桂井事務局長著詩集「むが齡滴る緑の如くなれば」(頒價百六十圓)これは既設青蘭會の運営資金の一部として一つの會に相當冊数を寄附され、又その一部は今回竣工した本會の婦人ホーム(併設子供の家)の新築費助成のために近く送本する豫定ですからお待ち下さい。

清冽なヒューマニズムと暖いロマンチズムの交錯した詩篇四十三篇を收め、國民審査員山脇信徳翁伯装頓の總和紙の美麗な詩集でございます。 續いて、兒童讀物として「土佐郷土童話物語」大人の讀物としての「土佐方言小説」が本會の社會事業啓蒙と文化事業をかねて、同じ著者によつて上梓される豫定でございます。

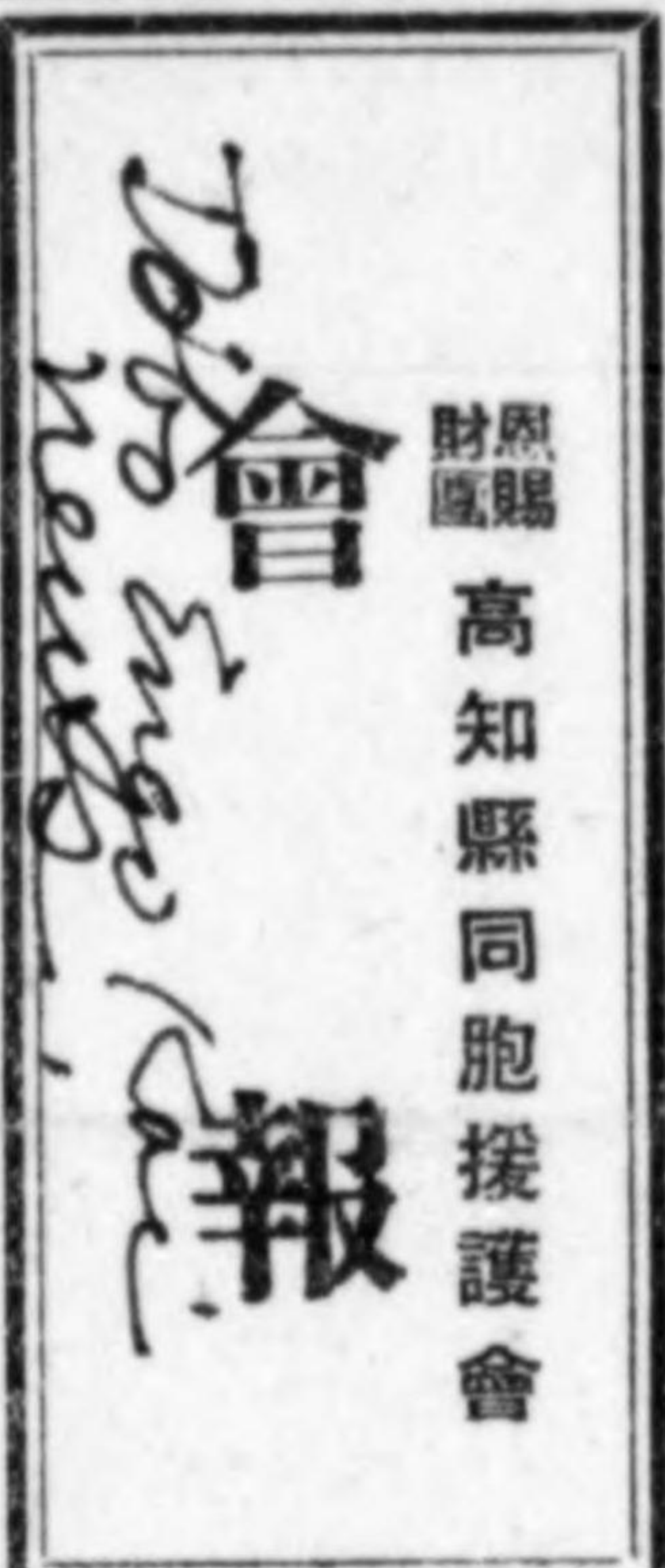
点描 二十九日各青蘭會長らの市内施設視察のをり マリア園を辭した時皆の瞳は濡れていました。 可哀そうで胸がつまつてものが云えないと。或會長は泣く、子供を捨てる親の氣持がわからぬ。身を粉にして子供供の爲にと強く生きて居る私共なのに、凡そかけはなれた心情をもつ母性が世にある事を今更ながら知つたと會長さん達の慨嘆である。

ある母子寮を見學して 破れた四疊半に母と子が而も二世帯住んで居るときの會長さん達。暫し啞然たる様子であつた。 一年中戸を閉めきつて使わぬ御自分達の村の家が願裡をかすめたらしい。

向南寮の一夜 女學校の寄宿會以上と思われれる賑やかな向南寮の夜。青疊の上に敷きつめられた毛布の薄さ等苦にもならない會長さん達。明日への緊張も解けて今宵は是婦人に許された自由の世界である。 誰憚らぬ追憶が次々と展開され珍且つ妙、抱腹絶倒の渦巻に日頃の鬱憤を吹き飛ばすと共に一夜にして同宿の寡婦を完全に一つに結び合せてしまつた二つ飛ぶ蝶をみても腹が立つと或會長が吐けどどと溢れる洪笑の波。笑いに紛らす冗言も寡婦に共通せる心情を吐露したもののがうかがわれる。蝶にまて無限のうらみを感じず。これが寡婦の眞情だ。

益なり(マタイ傳) 海の深處に沈められ、頸に懸けられ、寧ろ大なる礮臼を頸に懸けられ、海を信する此の小さき者の一人を躓かす者は、





發行所 高知市相生町78 高知縣同胞援護會 (電話 826番) 編集 高橋正統 印刷所 谷内印刷所

未亡人の再婚と幸福の問題

事務局長 桂井和雄

現在の若い未亡人をして、彼れた母もつて考えてやるべきことだと思ふ。に陥れ、明日の生活を暗くせしめてい

経済的な問題については、國に生活に困窮している者のために生活保護法や児童福祉法があると言へば、その適用は一部の人々に限定されてい

ただ未亡人自身の考へるべきことは子供の將來の事である。母はその子に

然しながら、未亡人の再婚生活はその出發に際して男女共にハンデキャップのあることが多いので、その再婚生

近代の愛情はお互いに與へるものと奪うものとの均衡を欠けば、滿々と

七月十日毎日新聞日曜欄に書いた桑原武夫氏の「引揚者をめぐる問題」を起點として「ソ連引揚者への問題」と題して

母子援護の徹底

政府施策発表

本會が終戦以來強調して來た未亡人問題に、本部を通じて遂に政府を動か

ソ連引揚者への問題... 共産黨書記長の徳田球一氏も「驛頭で家族を棄て、同志と共に行動して

- 2、未復員者給與特別未歸還者給與に洩れることのないよう留意すること
3、生業援護の促進
1、職業、内職、技能習得希望者に對する適切遺憾なき措置
2、生業資金を必要とする者に對する措置
3、子女を抱えて働く未亡人の爲に臨時保育所並開託兒所制度の考慮
4、授産施設、職業補導所、共同作業場の優先的利用
5、生業資金貸付機關として社會事業金庫(假稱)設置の考慮
6、厚生年金、寡婦年金制度の活用
4、啓蒙指導及び關係團體の協力促進
1、慰勞激勵
2、自發的未亡人團體の助長
3、關係團體の協力促進
4、弘報活動の活性化

「ソ連引揚者への問題」... 共産黨書記長の徳田球一氏も「驛頭で家族を棄て、同志と共に行動して

ソ連引揚者への問題... 共産黨書記長の徳田球一氏も「驛頭で家族を棄て、同志と共に行動して



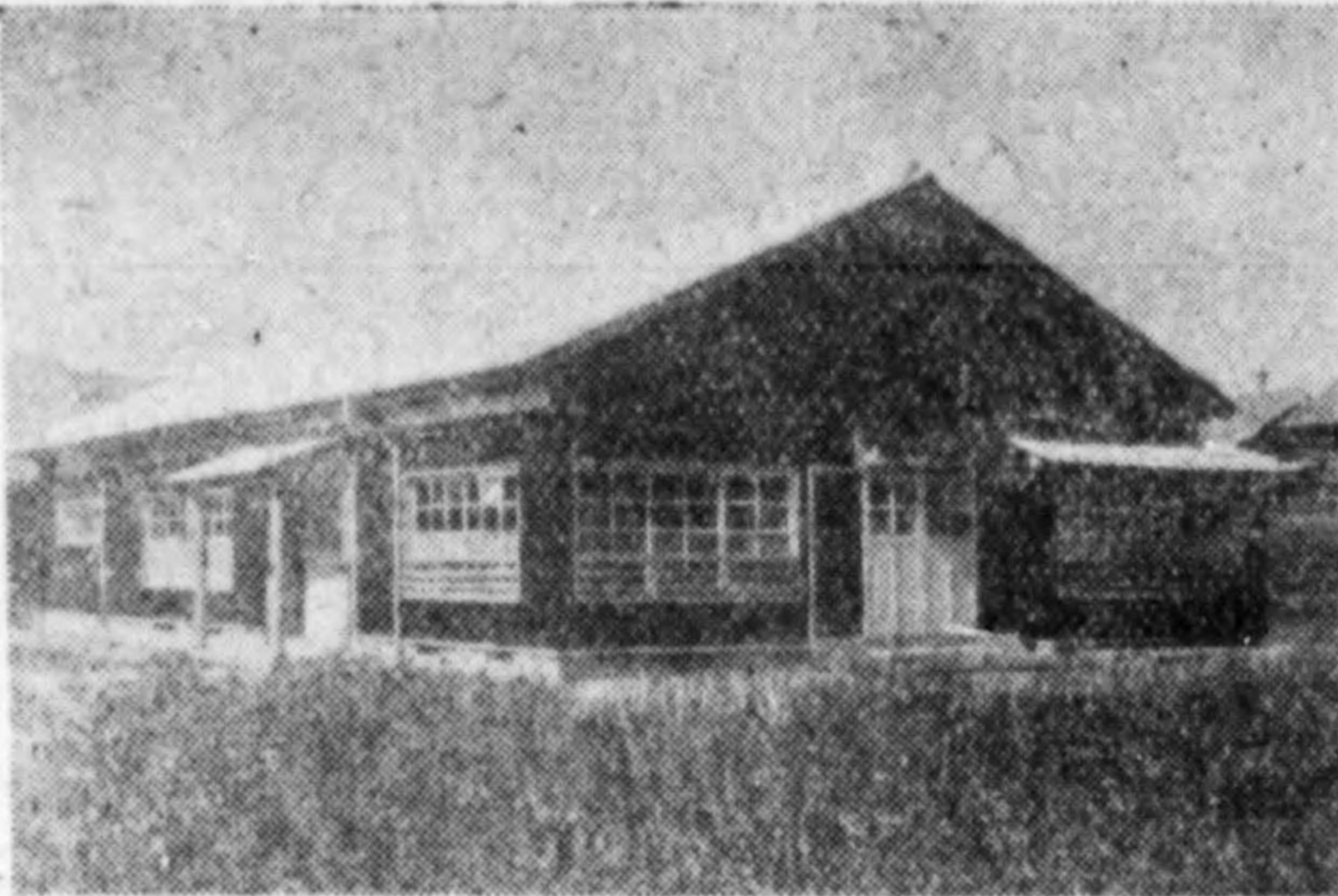
赤い羽根を

着々すすすむ

本年度CCC運動計畫

昭和二十四年度本縣々國民同胞の救護更

昭和二十四年度本縣々國民同胞の救護更



縣民の皆様ありがとう

昭和二十三年度共同募金配分に

その後の青蘭會の動き

別府村△現在川渡部落で青蘭會を結

伊野町△去る六月二十五日總會を開き

全國に於ける未亡人團體の結成

未亡人問題は最近漸く重大な社會問題

△千葉縣では去る六月七日縣未亡人連

△山梨縣未亡人連盟連合會は昨年二月

頃遙々會員來局し物資を澤山仕入れ

薄幸の子等に温い贈物を!

事務局の裏に瀟灑な姿で建っている

よい子たちの夏期聚落

事務局の門を訪れる人々

期待される新分會活動

同胞援護會の活動は、青蘭會運動の

本會と青蘭會との連絡

本會では各町村青蘭會に助成金三千

事務局の裏に瀟灑な姿で建っている

よい子たちの夏期聚落

事務局の門を訪れる人々







寡婦家庭調査表							高知縣母子調査表 (昭和二十四年一月十日現在)												
理由別 郡市別	戦 死 した もの	病 死 した もの	死 別 の もの	離 別 の もの	その他 の もの	計	備考	未 亡 人 總 數	未 亡 人 總 數 中 子 供	有 子					未 亡 人				
										(1) 扶養義務者のないもの	(2) 生活保護法該	(3) 無職者	(4) 新に母子寮に入寮を要するもの	(5) 有子未亡人の数の乳幼児	満 六 才 未 満 の 兒 童	満 六 才 未 満 の 兒 童	その 他		
高知市	1,215	1,503	389	166	3,273	こののみである。	高知市	6,914	822	500	570	3,162	13	372	2,162	5,593			
安藝郡	1,250	961	189	18	2,418	こののみである。	安藝郡	5,413	685	737	483	1,001	2	853	3,767	5,411			
香美郡	1,119	876	239	33	2,267	こののみである。	香美郡	4,700	835	376	283	998	5	583	1,991	3,912			
長岡郡	665	741	147	28	1,581	こののみである。	長岡郡	3,619	645	328	262	516	92	232	1,487	1,599			
土佐郡	222	231	22	2	477	こののみである。	土佐郡	824	79	154	70	149	1	90	575	1,033			
佐川郡	513	395	81	10	999	こののみである。	吾川郡	2,886	611	344	247	376	14	679	1,633	588			
高岡郡	1,758	1,457	376	133	3,724	こののみである。	高岡郡	4,208	698	376	395	852	21	841	2,886	1,293			
幡多郡	1,406	1,419	444	85	3,354	こののみである。	幡多郡	4,780	781	791	410	905	10	655	2,810	2,344			
計	8,148	7,583	1,887	475	18,093	こののみである。	計	33,354	5,156	3,606	2,720	7,959	158	4,305	17,311	21,774			

母子家庭調査表

高知市	2,597	土佐郡	407	計	15,161
安藝郡	2,119	吾川郡	834		
香美郡	1,847	高岡郡	3,217		
長岡郡	1,293	幡多郡	2,847		

會員の便り

先日は御便り戴いておりましたのに、御返事の致しようもなく、唯々本會運営の事に日夜氣をもむばかりでございました。

明晩の村役場主催、無料映畫の時間を借りて、本會設立趣意を、放送する積りでございます。そして私は身も心も小さい乍ら、立ちましたからは、猥も本會の爲に盡したいつもりでございます。すれば、何卒御援助下さいませよう伏してお願ひ申上げます。

會員の皆様も大變力んでおられますれば必ずや立派に發展していく事をお誓ひし、心強く存じております。近づく久禮八幡様祭日當日の行事や、その他具體的事業も、どしどしやりたいと、胸が膨らみます。(仁井田村青蘭會長吉村幸子)

去る七月廿日の結成式には、ほんとうに温情溢る、御激励のお言葉を賜わり悲しみに堪え、堪えたる私達の心に始めて人生への希望と、生甲斐をみつけた。眠りつづけた私達も、之から力強くよみがえり、國家の目標に、自己の目標を投合して生きて行きます。まだ發足したばかりでございますので女の身ではおぼつかうございますがどうか先生方の御援助と御指導を、よろしくお願ひ致します。(下半山村青蘭會長吉永千代子)

前署、日下は保育園を新設いたしました。尙左のような會の活動計畫をたて、着々進んでおります。私は別に村で女子青年の教育を、(生花、茶道、洋裁、料理、和裁)いたしております。この方もやがて青蘭會へ結びつけるつもりでございます。胸に描く繪はいろいろありますが、一つ宛着々実行するつもりです。何卒御援助をお願い申上ります。

日下村青蘭會二十四年度行事豫定  
十月修養に關する講話をきく、二月間

新刊

桂井事務局長著  
土佐郷土童謡物語

本書は小學校、新制中學校社會科の副讀本として興味深く書かれた郷土的な讀物です。その収益は青蘭會や本會の活動資金になります。多數の申込みを期待します。

養護施設「愛仁園」開設さる

縣下で孤兒、貧困兒を養護する施設は現在マリア園、博愛園、子供の家、愛仁園と、四ヶ所であるが、この度慈善協會では更に收容を要する對象の多し、實情にかんがみ、今回新に仁井田に八百坪の土地を入手し愛仁園を開設する事になった、梓の木立にかまされた好適の場所である。收容豫定人員は六十名

未亡人や傷痍者に好適の貸本商の紹介

子供の面倒を見る爲、家をどうしてもあけられない未亡人や或は傷痍者にとつて、生活資金を獲得する爲には、どうにか先生方の御援助と御指導を、よろしくお願ひ致します。(下半山村青蘭會長吉永千代子)

前署、日下は保育園を新設いたしました。尙左のような會の活動計畫をたて、着々進んでおります。私は別に村で女子青年の教育を、(生花、茶道、洋裁、料理、和裁)いたしております。この方もやがて青蘭會へ結びつけるつもりでございます。胸に描く繪はいろいろありますが、一つ宛着々実行するつもりです。何卒御援助をお願い申上ります。

日下村青蘭會二十四年度行事豫定  
十月修養に關する講話をきく、二月間

青蘭會のために事務局員の動き

(自五月一七月)  
五月六日 斗賀野村へ(文化講演會)  
桂井局長

編集後記

土佐をよけて走つたジネーリス台風は、ホッとした氣持とともに九州の同胞の上に災禍僅少であれかしと祈る今日、ようやく會報の編集を終る。

毎月發行の會報(ニュース改題)が、いつも遅れがちで局長から小言ばかりを頂戴する。次號からは必ず期日迄には發行するよう頑張る覺悟。全國の社會事業團體に送る此會報を充分御利用願ひ讀者皆様の御協力を期待する。

五月八日 佐川町へ(結成式)  
桂井局長、前田主事補  
五月十日 日下村へ(結成式)  
桂井局長、前田主事補  
五月二十日 戸波村へ(結成式)  
桂井局長、前田主事補  
五月三十一日 朝倉地區(結成準備)  
桂井局長、前田主事補(細谷厚生課長)  
六月一日 川内村へ(講演會)  
桂井局長  
七月二十日 下山山村へ(結成式)  
桂井局長、前田主事補(中島福社司)  
七月二十一日 松葉川村へ(結成式)  
桂井局長、前田主事補(藤平兒童課長)  
七月二十二日 窪川町へ(結成式)  
桂井局長、前田主事補(藤平兒童課長)  
七月二十三日 仁井田村へ(結成式)  
桂井局長、上田主事補  
七月二十五日 東又村へ(結成式)  
桂井局長、上田主事補



高同援第二三九號

昭和二十四年九月九日

恩賜  
現因

高知縣同胞援護會長 山本 義孝

高知民事部 厚生課長 殿

月報提出の件

本會施設関係八月分月報別紙の通

り報告いたします

可義月氏

第二號

恩賜 高知縣同胞援護會



昭和二十四年八月分施設収入支出明細書

高知縣同胞援護會

施設名	収入		支出		事業内容	職員数
	計	説明	計	説明		
母子寮	一二〇二七九五	七八九月份措置 事務費六八五三八 事業費五二四三七	一三一六二〇〇	諸給 六六〇三〇〇 事務費 一七五九〇〇 施設費 四八〇〇〇〇	母子寮 七女帯	寮母 一名
保育園	三九三九五六一	七八九月份措置 事務費四〇〇〇三 施設費一八六五四八 保育料七〇〇〇〇	二一四三七〇	施設費 一六七九〇〇 事務費 四〇〇〇〇	幼児保育	園長一名 保母四名
婦人ホーム			一七一九〇	身寄りの 存小婦人		指導員 兼保母 一名
一時宿泊所			一四九八九〇	諸給 一三三三一〇〇 需用費 一六五八〇〇	引揚復員者 一時宿泊	管理員一名 給仕一名
仁井田收容所					共同住宅	館理人 兼 一名
庶民住宅			六八〇〇〇	施設費 六八〇〇〇	同	司 右
生活相談所			一一六三〇	諸給 一〇三六九〇〇 事務費 六六四〇〇 事業費 五九七〇〇	生活相談	部員兼 二名
愛童園	二二八七四四〇	七八九月份措置 二二八七四四〇	一四八〇八六〇	諸給 五、一四九、〇〇 事務費 九、六五九、六〇	孤児収 容保護	保母 一名 兼 一名
子供の家	一九三、六一六、二九六、六一、一四四	七八九月份措置 一九三、六一六、二九六、六一、一四四	一一四、一五七、〇〇四	諸給 一、二〇七、四〇〇 事務費 一、三、五二、四〇〇 事業費 四、〇一三、〇〇〇	全 右	保母 二名
計	九三、六一四、一三二		一四、一五七、〇〇四			







在在  
園園  
費費  
一全  
部額  
免免  
除除  
兒兒  
童童  
數數

計	棄兒	被虐兒	貧困兒	浮浪兒	孤兒	種別	收養兒童		昭和三十四年九月一日
							前在	末在	
三七	-	二	三	三	-	人	現	員	三十四年九月一日
	減	增	減	增	減	人	員	員	動
三七	-	二	三	三	-	人	合	員	現
									月
									末
									報
									告
									者
									三
									里
									愛
									童
									園
									長
									江
									川
									義
									清
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月
									介
									報
									八
									月



昭統24年8月分保育月報 三里保育園

園名		三里保育園			定員	132名	保育日數	24日	責任者印
指 置 別	分 別	前月	本月	本月	本月	欠	欠	備	考
		籍人員	中國	中國	未籍人員	席數	席數		
法 子 由 來 該 寄 兒	男	11			11	159	81	1	
	女	15			15	177	111	3	
	計	26			26	336	192	4	
	男	45		2	43	156	300	24	
	女	37		4	33	164	388	10	
	計	82		6	76	320	688	34	
自 由 契 約 兒	男	13			13	104	184	1	
	女	11			11	44	76	6	
	計	24			24	148	260	7	
統 在 籍 兒	男	69		2	67	419	565	26	
	女	63		4	59	385	575	19	
	計	132		6	126	804	1140	45	
								出席百分率	
								41%	

每月五日迄六提出



ちぐさ寮事業概況書

昭和24年8月

寮母 西尾雅子

先月末在寮		7世帯17名	在寮者延滞状況	2才以下	0
本月中退寮		なし		6才以下	1
本月中入寮		なし		7才以上	5
現在収容		7世帯17名		13才以上	3
在寮者(母親)	種別	戦災	0	医療扶助を受けし者	1
		引揚	0	生活扶助を受けし者	2世帯
		留守宅	1	扶助金総額	2,778円
	就職状況	離別	1	結婚せし者	0
		遺族	5	他施設に移住者	0
		その他	0	自立せし者	0
		外勤	4	その他	0
現況	外職	3	合計	0	
	高小卒以上	4	本月中収容実人員	17名	
	実小卒	2	先月末迄収容延滞人員	15588名	
	高小卒	1	本月中収容者平均収入額	3666円30銭	
	小卒	0	本月中収容者平均生活費	1509円65銭	
備考					



支部長 \_\_\_\_\_ 婦人ホーム事業概況書 \_\_\_\_\_ 局長 \_\_\_\_\_  
 副支部長 \_\_\_\_\_ 昭和24年 8 月分 \_\_\_\_\_ 所課 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_ 主任 \_\_\_\_\_

先月	未	在	寮	者	/	在	學	高	女	卒	以						
本月	中	退	寮	者	/	在	學	高	女	中	退						
本月	中	久	寮	者	/	在	寮	補	修	卒							
現在	收	容	人	員	/	在	寮	高	小	卒							
在	種	特	殊	婦	人	者	歴	小	學	未	修	/					
		離		婚	独		年	2	0	才	以	下					
		孤		獨			年	2	5	才	以	下	/				
		引		揚			年	3	0	才	以	下					
		寮		婦	他		年	3	5	才	以	下					
		其		裁			年	4	5	才	以	下					
		洋		勤			分	医	療	扶	助	受	者	/			
		外		職			分	生	活	扶	助	受	者	/			
		内		職			分	扶	助	金	總	額	730.00				
		無		職			分										
者	就	業		職	/	現	退	寮	者	結	婚	せ	者				
		狀		職		況	退	寮	者	就	職	せ	者				
		况		職		況	退	寮	者	家	庭	へ	引	取	ら	れ	
				職		況	退	寮	者	他	の	施	設	へ	移	住	
				職		況	退	寮	者	行	方	不	明	と	な	る	
				職		況	退	寮	者	本	月	中	一	時	宿		
				職		況	退	寮	者	本	月	中	身	上	相	談	
				職		況	退	寮	者	本	月	中	收	容	人	員	
				職		況	退	寮	者	本	月	未	收	容	延	入	
				職		況	退	寮	者	本	月	中	收	容	者	平	均
現	前	家	庭	と	り	退	寮	者	本	月	生	活	費	一	人	當	1272.43
		病	院	と	り	退	寮	者	本	月	中	身	上	相	談	件	数
		自	ら	訪	問	来	る	者	本	月	中	收	容	人	員		
		他	の	施	設	と	り	退	寮	者	本	月	未	收	容	延	入
		官	公	署	と	り	退	寮	者	本	月	中	收	容	者	平	均
況	歴	其	他			退	寮	者	本	月	中	身	上	相	談	件	数
		兩	親	と	あ	る	者	本	月	中	收	容	人	員			
		父	の	み	あ	る	者	本	月	未	收	容	延	入			
		母	の	み	あ	る	者	本	月	中	收	容	者	平	均		
		い	ず	れ	か	繼	母	の	者	本	月	中	收	容	者	平	均
況	家	族	の	状	况	退	寮	者	本	月	生	活	費	一	人	當	1272.43
		兩	親	と	あ	る	者	本	月	中	身	上	相	談	件	数	
		父	の	み	あ	る	者	本	月	中	收	容	人	員			
		母	の	み	あ	る	者	本	月	未	收	容	延	入			
		い	ず	れ	か	繼	母	の	者	本	月	中	收	容	者	平	均
備	考	考				退	寮	者	本	月	中	身	上	相	談	件	数
		考				退	寮	者	本	月	中	收	容	人	員		
		考				退	寮	者	本	月	未	收	容	延	入		
		考				退	寮	者	本	月	中	收	容	者	平	均	
		考				退	寮	者	本	月	中	身	上	相	談	件	数



8月分事業報告表						高知縣同胞援護会相生町授産所							
(1) 金銭收支明細表													
收 入						支 出							
種 目	数量	金額	種 目	数量	金額	種 目	数量	金額	種 目	数量	金額		
洋裁補習班		5,100.00	職員給		17,545.00								
ミシン部		27,344.58	事務費旅費		6,410.00								
花瑠部		1,230.00	通信費		33.33								
			事業費指導費		375.00								
			慰勞費		450.00								
			工賃		17,740.00								
			材料費		1,188.50								
			修繕費		7,127.00								
			雜費		180.00								
計		33,674.58	計		51,048.83						33,523.83		
備 考													
(2) 作業人員数													
作業 実 人員	場内	7人	男	-	計	7人	作業 延 人員	場内	157人	男	-	計	157人
	補導生	43人	男	-	計	43人		補導生	450人	男	-	計	450人
	場外	3人	男	-	計	3人		場外	2人	男	-	計	2人
	計	53人	-	-	53人			計	607人	-	-	607人	
(3) 作業員 1 收入													
最高	3,675.00	最低	95.00	平均	2,508.57								
(4) 作業人員分類													
引揚者	15	野繕者	20	高機手	2	其他	13	計	53				



中華民國三十一年

恩賜財團 高知縣同胞接護會物部川授產所

8月分事業成績月報

(1) 種目	收入金額	種目	支出金額
和今	145,756.00	職員給料	44,058-
油紙	137,229.00	事務用消耗品	585-
其他	3,251.00	材料費	137,310.00
		工賃	84,894.30
		雜費	53,210.51
合計	286,236.00	合計	320,057.81

備考赤字理由 (竟掛金 400,000.00 元為)

(2) 1人/日 平均工賃 114.91

作業實人	(3) 作業人員數				延人員	(4) 作業員收入		
	男女別	女	男	計		最高	平均	最低
通勤者	2	16	37	886				
其他								



		工賃	84,894.30
		雜費	53,210.51
合計	286,236.00	合計	320,057.81

備考赤字理由(竟掛金400,000.00元為)

(2) 1人1日平均工賃114.91

作業人員	(3) 作業人員數				延人員	(4) 作業員收入		
	男女別	女	男	計		最高	平均	最低
通勤者		21	16	37	886			
家庭作業		12	4	16	236	4666	2434	1530
計		33	20	53	1122			

備考本月病氣其他勤務せがら者4名

通勤	(5) 作業人員分類						計
	引揚		職災	復員	其他		
引揚	12		15	2	8		37
其他	6		6	2	4		16
計	18		21	2	12		53

6 職員數8名

物部川授産所

井上年一



高知縣同胞援護会依批旭援産所

8月分事業報告 代表者 吉良隆俊

(1) 金銭収支明細表

費目	数量	金額	費目	数量	金額
高知縣同胞援護会		3329.38	職員給		24396.65
石綿加工賃		275520.00	事務費		3481.00
			電話料		1200.00
			事務用消耗品		214.50
			石綿加工賃		183680.00
			指導費		0.00
			運品代		1340.00
			運送費		1080.00
			運賃		3973.00
			備品		225.00
			出張旅費及手当(56日間)		78800.00
			援護会ニ対スル 寄附金		34400.00
			雑費		0.00
計		278849.38	計		329657.15

(2) 作業人員表

作業場	作業場内			作業場外			計
	女	男	計	女	男	計	
実働	5人	4人	9人	125人	100人	225人	
待機	195人	4人	199人	4875人	100人	4975人	
合計	200人	8人	208人	5000人	200人	5200人	

(3) 作業の収入

最高	4400.00	平均	1091.77	最低	210.00
----	---------	----	---------	----	--------

(4) 作業人員合計

31陽者	49	職長者	91	留守定率	19	その他	49	計	208
備考	赤字 50807.77 (理由原料入手高出張旅費トシテ 78800.00ニテ消費マシエヨル)								



8月分事業報告書

所産授三託會護授胞  
代表者氏名北川 雄雄印

① 金銭收支明細表

収入		支出			
種目	数量	金額	種別	数量	金額
縫製加工部		9,750.00	職員給	3人分	7,680.00
洋裁補導部	19人分	1,840.00	事務備品		
花緒部			消耗品		723.00
預金利子			卒業指導費		
雑収入			消耗品		
			備品		
			工料		
			材料費		2,115.00
			家賃		400.00
			ミン借料		400.00
			電気料		588.00
計		11,590.00	計		11,906.00

備考  
洋裁部は8月中暑中休、1,840円は希望者17人分の10日間分  
花緒部は出張整理上8月中休業した

② 作業人員数

作業実人員	場内			場外			計		
	女	男	計	女	男	計	女	男	計
	2人	1人	3人	20人	40人	60人	20人	40人	60人
	17人	0人	17人	人	人	人	人	人	人
計	19人	1人	20人	計	20人	40人	60人		

③ 作業の収入

最高 3,930円 平均 2,560円 最低 1,500円

④ 作業人員分類

引揚者 人 戦災者 人 遺家族 人 其他 人 計 人



昭和24年8月31日報告書

賜<sub>賜</sub>知縣同胞援護會 頒布所

主任 係

昭和24年8月1日 商品在高 <sup>33.013個</sup> <sub>108年120箱</sub> ￥. 342,966.31

内訳 雜貨 27,314個 ￥. 204,792.15

金物 2,025個 ￥. 91,555.86

陶器 3,674個 ￥. 37,771.60

食料品 <sub>108年120箱</sub> ￥. 8,846.70

昭和24年8月中商品仕入高 249個 ￥. 8,875.00

内訳 雜貨 249個 ￥. 8,875.00

昭和24年8月31日 8月中商品受入高

<sup>33.262個</sup> <sub>108年120箱</sub> ￥. 351,841.31

昭和24年8月中商品賣上高

<sup>2.228個</sup> <sub>63年</sub> ￥. 74,523.00 ￥. 5,306.10 (増)

内訳 雜貨 2,077個 ￥. 62,010.00 ￥. 3,450.30



昭和24年8月31日

昭和24年8月31日

33,262個  
108年/20物

¥. 351,841.31

昭和24年8月中商品賣上高

2,228個  
83年

¥. 74,523.00 (利益)  
¥. 5,306.10

内訳 雜貨 2,077個 ¥. 62,010.00 ¥. 3,450.30

金物 97個 ¥. 6,909.00 ¥. -447.00

陶器 54個 ¥. 1,324.00 ¥. 191.00

食料品 63年 ¥. 4,280.00 ¥. -159.20

1時生活援護金 ¥. 2,771.00

① 倉上中特別品整理 419個 ¥. 6,220.00 (整理金額)  
¥. 850.00

内訳 雜貨 22個 ¥. 44.00 ¥. 40.00

金物 397個 ¥. 6,176.00 ¥. 810.00

計

¥. 74,523.00 (商品賣上高) + ¥. 2,771.00 (1時生活援護金) = ¥. 77,294.00 (計表合計金額)

¥. 77,294.00 (計表合計金額) - ¥. 71,987.90 (商品原価) = ¥. 5,306.10 (純利益)

① 倉上中生活困窮者に對する領布 8名 317套 ¥. 11,589.00 領布に對する差額 ¥. 2,771.00

② 倉上中青團會に對する貸出品



註

$$\begin{array}{l} \text{¥. } 74,523.00 \quad + \quad \text{¥. } 2,771.00 \quad = \quad \text{¥. } 77,294.00 \\ \text{(商品売上高)} \quad \quad \quad \text{(生活援護金)} \quad \quad \quad \text{(目録合計金額)} \end{array}$$

$$\begin{array}{l} \text{¥. } 77,294.00 \quad - \quad \text{¥. } 71,987.90 \quad = \quad \text{¥. } 5,306.10 \\ \text{(目録合計金額)} \quad \quad \quad \text{(商品原価)} \quad \quad \quad \text{(純利益)} \end{array}$$

① 在工中生活困窮者に對する領布  
 別名 317袋 ¥. 11,589.00      領布に對する差額 ¥. 2,771.00

② 在工中青蘭会に對する貸出品  
 8袋 5,864袋 ¥. 35,134.00

昭和24年8月31日 商品在庫  
 30,615個      ¥. 264,758.41  
 45年120箱

内訳

雜貨	25,464個	¥. 146,188.45
金物	1,531個	¥. 78,023.86
陶器	3,620個	¥. 36,638.60
食料品	45年120箱	¥. 3,907.50



Imperial gift foundation Kochiken DOHOENGO KAI (1)

News No 7

page 1 preparation meeting of forming of "mothers and children league" with enthusiasm which only mothers and widows could acquire.

at the municipal building on 30th March.

page 1 For the movement of "mothers and children league" Kanno Katsurou, chief of business bureau.

page 3 representative of "mothers and children league" demanded prefectural government for welfare of widows at the preparation meeting

page 3 activity of SEIRANKAI in each district, announced at the preparation meeting

page 4 (completion of construction of woman's home

page 4 (activity of officials of business bureau for SEIRANKAI)

page 4 (voice of representative)

page 4 (cultural publication published by relief society for SEIRANKAI)

page 4 (sketch)

DOHOENGO KAI NEWS No 8

page 1 problem of remarriage of widows and their happiness



- page 1) Through relief of mothers and child.  
Government announced its policy.
- page 1) problem of repatriates from USSR zone.
- page 2) Plan of community chest movement.
- page 2) "Home for dependant, neglected and abused children" completed its construction.  
Thank all Edinokensei.
- page 2) formation of widows organization throughout Japan.
- page 2) Activity of SEIRANKAI
- page 3) Expected activity of New branch.
- page 3) welfare fund increased to 15,000 YEN
- page 3) Connection and cooperation between DOHOEN GOKAI and SEIRANKAI
- page 3) Let us give warm gift to unhappy children
- page 3) Holding of exhibition of orphan's photographs
- page 3) Broadcasting conference of women
- page 3) person who visit the life consultation department
- page 4) Investigation list of widows home
- page 4) News from members
- page 4) "Home for dependant neglected abused children" "Aijinen" has been opened
- page 4) Introduction of second hand book store keeping suitable for widow and disabled soldier.
- page 4) activity of officials of business bureau for SEIRANKAI



Dokwaengokai News 3

page 1

Reorganization of Dokwaengokai as an  
organization of private social work

page 2

Business bureaus cover



- 2) 1) (Document)  
 Details of revenue and expenditure of  
 institutions in August 1949  
 Kochikan Dokoengokai
- 2) monthly report of number of children received  
 by "home for dependant neglected abused children"  
 in August
- 3) monthly report of nursing at Sanri day nursery.
- 4) outline of business of Chigusa dormitory.
- 5) outline of business of woman's home  
 August in 1949
- 6) Business report of Kochikan Dokoengokai Aoi chi  
 workshop. (August)
- 7) monthly report of business of Monobegama workshop  
 (August)
- 8) monthly report of business of Asahi workshop  
 (August)
- 9) detail of account of Sanri workshop  
 (August)
- 10) monthly report of Dokoengokai distribution center  
 in August
- 11) details of revenue and expenditure of institution  
 in July 1949
- 12) Report of number of children received by the  
 "home for dependant neglect abused children"  
 July
- 13) monthly report of nursing at Sanri day nursery
- 14) Business report of Chigusa dormitory
- 15) -----  
 June



高同援第二〇九號

昭和二十四年八月 日

恩賜 高知縣同胞援護會

會長 山本義孝

高知民事部厚生課長殿

月報提出の件

本會施設関係七月分月報別紙の通り報告  
いたしませう

*Monthly Report of July*

司義月氏

第二號

恩賜 高知縣同胞援護會



昭和二十四年七月分施設収入支出明細書

高知縣同胞援護會

施設名	収入		支出		事業内容	職員数
	収	入	支	出		
施設名	収	入	支	出	事業内容	職員数
母子寮			八、九五〇		母子收容 七女帯 一七名	寮母 一名
保育園	三九、〇〇〇		二四、九二九五		幼児保育 一三一一名	園長 一名 保母 四名
婦人ホーム			二九八五		身寄りの 在り婦人 指導員兼 保母 一名	指導員兼 保母 一名
一時宿泊所			一九、一八三〇		引揚復原者 一時宿泊	管理人 一名 給仕 一名
仁井田收容所			九九六九五		共同住宅 一五五五帯	管理人兼 一名
庶民住宅	九三七五				同 右 四七五帯	管理人兼 一名
生活相談所					生活相談 五七件	部員兼 二名
愛童園	四三、三三八四		二五、七五二六		孤児收容 一〇名	保母 一名 兼 一名
子供の家	三三、八九〇	五六	三六、〇九七五	五四	同 右 一四名	保母 二名
計	一二五、六〇三	九六	一一五、三五三	三五		



在園費全部免除兒童數 =  
 在園費全部免除兒童數 =

計	養兒	貧困兒	浮浪兒	孤兒	種別	昭和三十四年八月一日		報告者
						前月末	現在	
一	減	增	減	增	減	增	員	月
一	減	增	減	增	減	增	員	年
計	男	女	男	女	男	女	計	別
								1 次
								2 次
								3 次
								4 次
2					1		1	5 次
1					1		1	6 次
	1					1	1	7 次
3					2		1	8 次
								9 次
2					1		1	10 次
1					1			11 次
3					3			12 次
								13 次
								14 次
								15 次
1					1			16 次
								17 次
								18 次
								19 次
								20 次
131					9	1	3	計

養護施設收容兒童數月報

七月分

子供之家

前田卯子

備考







昭和24年7月分保育月報

責任者印

園名		三里保育園				定員 132		保育日報		
性別	前月末 在籍人員	本月中 入園	本月中 退園	本月末 在籍人員	出席延数	欠席延数	皆欠見	備	考	
法 三 十 四 條 該 當 者	男	9+(14)	0	0	11+(12)	276+(227)	10+(85)	0+(1)	男女 半 免 ト リ 三 人 全 免 へ 変 更	
	女	12+(10)	0	0	15+(7)	338+(152)	52+(30)	1+(0)		
	計	21+(24)	0	0	26+(19)	614+(379)	62+(115)	1+(1)		
自 由 嬰 幼 児	男	33	0	0	33	720	138			
	女	30	0	0	30	658	122	1		
	計	63	0	0	63	1378	260			
總 在 籍 児	男	13	0	0	13	300	38			
	女	11	0	0	11	234	52			
	計	24	0	0	24	534	90			
總 在 籍 児	男	69	0	0	69	1523	271	1		
	女	63	0	0	63	1382	256	2		
	計	132	0	0	132	2905	527	3		



ちぐさ寮事業概況書

昭和24年7月

寮母 西尾雅子

先月末在寮	看護人員	7名	7名	在寮者延状況	2才以下	0
本月中退寮	看護人員	なし	なし	年齢	6才以下	1
本月中入寮	看護人員	なし	なし		7才以上	5
現在収容	看護人員	7名	7名		13才以上	3
戦災		0			保護状況	医療扶助を受けし者
引揚		0			生活扶助を受けし者	2名
留守宅		1			扶助金総額	
離別		1		退寮者状況	結婚せし者	0
遺族		5			他施設に移住者	0
その他		0			自立せし者	0
外勤		4			その他	0
外職		3			合計	0
高女卒以上		4		本月中収容実人員		17名
実女卒		2		本月初迄収容延人員		1506名
高小卒		1		本月中収容者平均収入額		3248 <sup>19</sup> / <sub>53</sub> 円
小卒		0		本月中収容者平均生活費		1357 <sup>19</sup> / <sub>63</sub> 円
備考						



支部長 \_\_\_\_\_ 婦人ホ-ム事業概況書 \_\_\_\_\_ 局長 \_\_\_\_\_  
 副支部長 \_\_\_\_\_ 昭和24年 7 月分 \_\_\_\_\_ 所課長 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_ 主任 \_\_\_\_\_

先月	求中	在退	察察	者者	0	在	学	高女卒以上	
								高女中退	
本月	中	久	察	者	1	察	歴	補修卒	
								高小卒	
現在	收	特	殊	婦人	1	者	年	小卒未修	1
								20才以下	
種	別	引	察	其	1	現	况	25才以下	1
								30才以下	
在	業	就	業	状	况	前	歴	35才以下	
								45才以下	
者	現	無	職	職	1	况	家	医療扶助受者	
								生活扶助受者	1
現	况	家	庭	の	状	况	歴	扶助金総額	762.80
								締結せし者	
備	考	両	親	共	ある	者	者	就職せし者	
								家庭へ引取られ者	
考	考	母	の	み	ある	者	者	他の施設へ移住者	
								行方不明な者	
考	考	母	の	み	ある	者	者	本月中一時宿者	
								本月中身上相談件数	
考	考	母	の	み	ある	者	者	本月中収容延入員	
								本月中収容者平均収入額	
考	考	母	の	み	ある	者	者	本月中生活費一人当り	921.47



7月分事業報告表 高知縣同胞援護會相生町授産所									
(1) 金錢收支明細表									
收 入			支 出						
種 目	數量	金額	種 目	數量	金額				
洋裁補學脚		5,400.00	職員給		16,847.00				
ミシン部		17,147.50	事務費通信費		328.00				
花瑠部		11,295.00	事務費作車費		675.00				
立醫金充入		2,600.00	・ 慰勞費		100.00				
			・ 消耗品		17.00				
			・ 工賃		15,428.00				
			・ 材料費		20,637.50				
			・ 修繕費		3,060.00				
計		37,444.50	計		67,093.50				
備 考									
(2) 作業人員數									
作業 人員	場内	女 6人	男 -	計 6人	作業 人員	場内	女 150人	男 -	計 150人
	補進生	女 50人	男 -	計 50人		補進生	女 390人	男 -	計 390人
	場外	女 4人	男 -	計 4人		場外	計 -	男 -	計 -
	計	60人	-	60人		計	540人	-	540人
(3) 作業員 收入									
最高 3,405.00		最低 1,665.00		平均 2,338.00					
(4) 作業人員分類									
引揚者	17	職費者	28	計	60				



恩賜財團高知縣同胞援護會物部川授産所

7月分事業成績月報

(1)	收入	支出	
種目	金額	種目 金額	
和牛	227,375.00	職員給料	49,420.50
油紙	120,894.00	事務用消耗品	1,575.00
其他	1,248.00	材料費	162,416.90
		工賃	78,942.10
		雜費	45,695.37
合計	348,269.00	合計	337,749.87

(2) 一人一日平均工賃 125.42

(3) 作業人員數

作業人員	男女別	女	男	計	延人員
通勤者		21	16	37	918
家庭作業		12	4	16	240

(4) 作業員收入

最高	平均	最低
138.70	242.10	156.00



		雜費	45,695.31
合計	348,269.00	合計	337,749.27

(2) 一人一日平均工賃 125.42

(3) 作業人員數					(4) 作業員收入			
作業員	男女別	女	男	計	延人員	最高	平均	最低
通勤者	21	16	37	918				
家庭作業	12	4	16	240		5138.20	3470.10	1.560.00
計	33	20	53	1,158				

備考 本月病欠其他勤務加者(3名)

(5) 作業人員分類								計
通勤	引揚	戦災	復員	其他	計	其他	計	
引揚	10	15	2	8	37			
其他	6	6	2	4	16			
計	16	21	2	12	53			

(6) 職員數 8名

物部川授産所

井上年一



高知縣同胞援護會依託旭援産所  
代表者 吉良隆俊

7月分事業報告

(1) 金銭収支明細表

費目	数量	金額	費目	数量	金額
毎月別繰越金		62590.63	職員給		33682.75
志願加工賃		191520.00	事務費		530.00
			電話料		1200.00
			事務用消耗品		398.50
			志願加工賃		127680.00
			指導費		0
			薬品代		300.00
			送達費		655.00
			運賃		3685.00
			備品		1500.00
			出張旅費及手当		57200.00
			援護会=対20案附		23940.00
			雑費		10.00
計		254110.63	計		250781.25

(2) 作業人員表

作業人員	場内			場外			作業人員	場内			場外		
	女	男	計	女	男	計		女	男	計	女	男	計
	6人	4人	10人	90人	3人	93人		150人	100人	250人	2250人	75人	2325人
計	96人	7人	103人				計	2400人	175人	2575人			

(3) 作業の収入

最高	4400.00	平均	1067.44	最低	70.00
----	---------	----	---------	----	-------

(4) 作業人員分類

引揚者	26	戦災者	42	留守婦	10	其他	25	計	103
-----	----	-----	----	-----	----	----	----	---	-----

備 料金 3329.38 事業資金として翌月繰越す



7月分事業報告書

小胞援護會委託三里授産所  
代表者氏名北川静雄印

① 金錢收支明細表

收入		支出	
種目	数量	種別	数量
縫製加工部	10.290.00	職員給	3人分
洋裁補導部	9.080.00	事務備品	
花緒部	7.560.00	消耗品	
預金利息		事業指導費	
雜收入		消耗品	
		備品	300.00
		花緒工料	7.085.00
		材料費	595.00
		家賃電氣送料	1.388.00
		信用借金返済	7.009.50
計	26.930.00	計	29.329.50

備信用借金は返済済為り自前より無給の上2,397.50、赤字74.2  
考

② 作業人員數

作業人員	場内	女	男	計	場外	女	男	計
作業人員	20	50	70	20	50	70		
補導生	36	36	36					
場外	20	20	20	20	50	70		
計	59	2	59	20	50	70		

③ 作業の收入

最高6.390円 平均4.317円 最低2.060円

④ 作業人員分類

引揚者5人 戦災者3人 寄家族4人 其他47人 計59人

36人ハ洋裁生

20人ハ花緒部



昭和24年7月31日 賣上報告書

恩賜 高知縣同胞援護會領所  
主任 佐藤 信

昭和24年7月1日 商品在庫

32661個  
31年140箱

¥. 336,347.76

内訳

雜貨	28919個	¥. 200,443.10
金物	200個	¥. 92,761.36
陶器	374個	¥. 40,019.60
食料品	31年140箱	¥. 3,123.70

昭和24年7月中 商品仕入

3060個  
458年

¥. 142,402.00

内訳

雜貨	2880個	¥. 95,200.00
金物	180個	¥. 11,295.00
食料品	458年	¥. 35,907.00

昭和24年7月中 商品運卸



4584

内訳

雑貨	2880個	¥. 95,200.00
金物	180個	¥. 11,295.00
食料品	458斤	¥. 35,907.00

昭和24年7月中商品運卸品  
1個 ¥. 62.00

内訳

雑貨	1個	¥. 62.00
----	----	----------

昭和24年7月31日商品在庫 37,720個 489斤140匁 ¥. 478,687.26

昭和24年7月中商品売上高 4708個 38斤20匁 ¥. 146,991.90 (利益) ¥. 16,642.45

内訳

雑貨	4485個	¥. 100,546.80	¥. 9,757.85
金物	156個	¥. 12,036.60	¥. -43.90
陶器	67個	¥. 2,096.00	¥. -152.00
食料品	38斤20匁	¥. 32,312.50	¥. 2,128.50
1時生活援護金			¥. 5,372.00

註







July, 1947

Subject: Monthly Report of Dohaengokai  
From: The Dohaengokai

高同援第一八一號

二十四年七月 日

FILE

高知民事部厚生課長 敬

月報提出の件

本會施設関係六月分月報別紙の通り  
報告いたします

恩賜高知縣同胞援護會

會長 山本義孝



司義月氏

第二號

恩賜 高知縣同胞援護會



Incomes & Expenditures of the Institutions in Japan

49

昭和二十四年六月分施設収入支出明細書

高知縣同胞援護會

施設名	収入	支出	事業内容	
			収容人員	職員数
施設名	収入	支出	収容人員	職員数
母子寮	14,431.00	6,685.00 施設費 1,951.00 事業費 7,634.00	7名 7名	1名
保育園	26,895.00	2,483.50 事業費 1,978.00	132名	4名
婦人ホーム	446.00	446.00		1名
一時宿泊所	7,182.10	879.50 管理費 879.50 維持費 624.26		1名
仁井田收容所			15名	1名
庶民住宅	10,000.00	81.00	47名	1名
生活相談所			4名	2名
三里愛童園	11,860.00	1,236.70 施設費(四五月分) 1,186.00 薪料 1,236.70	1名	1名
子供の家	21,860.00	4,909.90 施設費 1,875.00 事業費 1,305.26	14名	2名
計	21,860.00	18,196.69		

収入  
支出

事業内容







Miako Children (orphans)  
 no. of protected children 10

養護施設收容児童数月報 六月分  
 三里登童園長 江川義清

昭和三十四年七月一日報告者

計	棄兒	被虐兒童	貧困兒	浮浪兒	孤兒	建山 別童 人現 員在 動中	性別		月 末 現 在 兒 童 數
							男	女	
三六	-	=	三	=	-	員	1	女	備 考  六月 廿九日 山本 章 研 入 園
減	減	減	減	減	減	員	2	女	
增	增	增	增	增	增	員	12	女	
-	三	三	三	一	三	員	4	女	
三	-	=	三	=	-	員	5	女	
七	-	=	三	=	-	員	6	女	
						員	7	女	
						員	8	女	
						員	9	女	
						員	10	女	
						員	11	女	
						員	12	女	
						員	13	女	
						員	14	女	
						員	15	女	
						員	16	女	
						員	17	女	
						員	18	女	
						員	19	女	
						員	計		
37			1	2	3	3	3	3	

在在  
 園園  
 費費  
 一全  
 部額  
 免免  
 除除  
 兒兒  
 童童  
 數數







Chigasaki (Widows Home)

ちぐさ寮事業概況書

昭和24年6月

寮母 西尾雅子

先月末在寮		7世帯17名	在寮者 延 年 令	2才以下	0		
先月中退寮		なし		6才以下	1		
先月中入寮		なし		7才以上	4		
現在収容者		7世帯17名		13才以上	3		
在寮者 (母親)	種別	戦災	0	保護 状況	医療扶助を受け者	2	
		引揚	0		生活扶助を受け者	2世帯	
		留守宅	1		扶助金総額	2218円	
	現況	職業	離別	1	退寮 者 状況	結婚せし者	0
			遺族	5		他の施設に移つた者	0
			その他	0		自立せし者	0
			外勤	4		その他	0
備考	現況	外職	3	合計	0		
		高小卒以上	4	本月中収容実人員	17人		
		実小卒	2	月末迄収容延人員	14534人		
		高小卒	1	本月中収容者平均収入額	3753円		
		小卒	0		本月中収容者平均生活費	1876円	



Women's Home (Helpless Women's Home)

支部長

婦人ホーム事業概況書

局長

副支部長

昭和24年 6月分

所課

主任 K. Maeda

先月	未中	在退	醫者	者者	在學	高	女	孕	以上					
						高	女	中	還					
本月	中	久	養	者	在	補	修	孕						
						高	小	孕						
現在	收	容	人	員	者	川	學	孕						
						小	學	未	修					
種	離	孤	婦	婦	現	2	0	才	以下					
						2	5	才	以下					
別	引	寡	其	他	況	3	0	才	以下					
						3	5	才	以下					
就業	外	無	職	職	況	4	5	才	以下					
						医	療	扶	助	受	け	る	者	
前	病	自	訪	の	内	生	活	扶	助	受	け	る	者	
						扶	助	受	け	る	者	の	總	額
歴	官	公	署	其	況	扶	助	受	け	る	者	の	總	額
						結	婚	せ	し	者				
家	庭	の	状	況	況	就	職	せ	し	者				
						家	庭	へ	引	取	ら	れ	る	者
備	考	本	月	入	者	他	の	施	設	へ	移	住	る	者
						本	月	中	一	時	宿	泊		
考	者	下	し	備	考	本	月	中	身	上	相	談	件	数
						本	月	中	收	容	者	人	員	
考	者	下	し	備	考	本	月	末	收	容	者	延	入	受
						本	月	中	收	容	者	平	均	收
考	者	下	し	備	考	本	月	生	活	費	一	人	當	り
						本	月	入	寮	者	下	し		



Aioicho Vocational Training Institution

6月分事業報告表 高知縣同胞援護会相生町授産所									
(1) 金銭-収支明細表									
収 入			支 出						
種 目	数 量	全 額	種 目	数 量	全 額				
洋裁補習班		6,200.00	職 員 給		17,915.00				
ミシン部		38,249.50	事務用消耗品		53.00				
準備部		100.00	事業費経費		500.00				
			" 備品費		5,500.00				
			" 消耗品		532.75				
			" 工賃		15,989.00				
			" 修繕費		560.00				
計		44,549.50	計		41,049.75				
備 考									
(2) 作業人員数									
作業 実 人 員	場内	女 5人	男 -	計 5人	作業 延 人 員	場内	女 123人	男 -	計 123人
	補習生	女 61人	男 -	計 61人		補習生	女 45人	男 -	計 45人
	場外	女 8人	男 -	計 8人		場外	訂用職 女 11人 男 2人	男 -	計
	計	74人	-	74人		計	578人	-	578人
(3) 作業員, 收入									
最高	3,100.00	最低	1,570.00	平均	2,029.00				
(4) 作業人員分類									
引揚者	16人	戦死者	16人	留院者	1人	其他	41人	計	74人



The noble and Vocational Training Institute

高知縣香美郡片地村下島 恩賜財團 高知縣阿波被護會物部川被産所

六月分事業成績月報

(1)	收 入		支 出
種 目	金 額	種 目	金 額
和 介	265,222.00	職員給料	49,502.81
油 紙	5,054.00	車務用消耗品	2,652.00
		材 料 費	267,921.80
		工 賃	103,100.50
		雜 費	39,997.50
合 計	270,276.00	合 計	465,180.68

(2) 一人一日平均工賃 148.08

(3)	作業人員數				(4)	作業員收入		
	男女別	女	男	計		延人員	最 高	平 均
作業實人員	通勤者	19 <small>職員2名</small>	14 <small>職員6名</small>	33	889	6,040.00	3,394.00	1,735.00
	家庭作業	9	4	13	16.9	<del>5,691.00</del>	<del>3,011.00</del>	<del>1,750.00</del>
	計							



The Noble Guard Vocables

		雜費	39,997.50
合計	270,276.00	合計	465,180.68

(2) 一人一日平均工賃 148.08

(3) 作業人員數	作業人員數				延人員	(4) 作業員收入		
	男女別	女	男	計		最高	平均	最底
通勤者	19	14	33	889	6,040.00	3,394.00	1,735.00	
家庭作業	9	4	13	16.9	<del>5,671.00</del>	<del>3,011.00</del>	<del>1,950.00</del>	
計	28	18	46	1058				
備考	本月病氣其他勤務セザル者(3名)							

(5)	作業人員分類							計	
通勤	引揚	10	我災	13	復員	2	其他	8	33
其他	"	6	"	5	"	0	"	2	13
計		16		18		2		10	46

(6) 職員數 8名

恩賜高知縣同胞接護會物部川接産所  
 財困  
 所長 井上 貞一



Asahi Vocational Training Institution

6月分事業報告

高知縣同胞援護會依託旭援産所  
代表者 吉良隆俊

(1) 金銭収支明細表

費目	数量	金額	費目	数量	金額
前月繰越金	足	28822	職員給		23394.37
芯縄加工賃	268500	322200	事務費		68
			電話料		1200
			事務用消耗品		497
			芯縄加工賃		214800
			指導費		0
			藥品代		700
			倉造費		1360
			運賃		4087
			備品		50
			雑費		1500
			出張旅費手当		500
			援護會對処費		40275
計		351022	計		288431.37

(2) 作業人員表

作業人員	場内			場外			計
	女	男	計	女	男	計	
作業人員	6	4	10	150	100	250	
引揚者	141	4	145	3525	100	3625	
計	147	8	155	3675	200	3875	

(3) 作業の収入

最高	4000	平均	147.8円	最低	70
----	------	----	--------	----	----

(4) 作業人員合分類

引揚者	26	職費者	77	留校生	10	其他	42	計	155
備考	剩餘金 62590.63円 事業資金 217 翌月へ繰越す								



Mitsui Vocational Training Institution

六月分事業報告書

小胞授護會委託三里授産所  
代表者氏名北川 雄 印

① 金錢收支明細表

收入		支出	
種目	数量	金額	種別
縫製加工部		13,160.00	職員給
洋裁補導部	30人	7,300.00	事務備品
花織部	14,000	9,800.00	消耗品
預金利子			事業指導費
雜收入			消耗品
			備品
			花織工料
			材料費
			家賃電気
			ミシン料
			借金利子
計		30,260.00	計

備考

② 作業人員數

作業人員	場内			場外			計		
	女	男	計	女	男	計	女	男	計
作業員	20人	50人	70人	20人	50人	70人	20人	50人	70人
補導生	30人	0人	30人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計	51人	2人	53人	20人	50人	70人	20人	50人	70人

③ 作業の収入

最高	6,950	平均	4,681	最低	2,275
----	-------	----	-------	----	-------

④ 作業人員分類

引揚者	5人	戦災者	3人	遺家族	4人	其他	41人	計	53人
-----	----	-----	----	-----	----	----	-----	---	-----



Shoengokai Department Store Report in June

商品賣上6月久報告書

恩賜言知縣月胸授二合頒布所  
主任 係

昭和24年6月1日 商品在庫高  
34,782個  
3/年140箱  
¥. 330,012.96

内譯

雜貨	28,839個	¥. 183,375.30
金物	2,110個	¥. 101,722.86
陶器	3,835個	¥. 41,791.10
食料品	3/年140箱	¥. 3,123.70

昭和24年6月中商品仕入高

2,531個  
¥. 99,771.00

内譯

雜貨	2,491個	¥. 98,681.00
金物	40個	¥. 1,090.00

昭和24年1月30日商品仕入高 37315個  
2/年140箱 ¥. 429,783.96



2.531個

7.11.111.00

内譯

雜貨  
金物

2.491個  
40個

¥. 98.681.00  
¥. 1.090.00

昭和24年6月30日商品受入高 373/5個  
3/19 140個

¥. 429.783.96

(賣上 部)

商品賣上高

2.654個

¥. 103.267.50

利益

¥. 13.651.30

内譯

雜貨  
金物  
陶器  
食料品

2.411個  
149個  
94個  
-

¥. 89.796.50  
¥. 11.283.00  
¥. 2.188.00  
-

¥. 8,183.30  
¥. 1,231.50  
¥. 416.50

1時生活援助金

¥. 3,820.00

註

$$\begin{array}{l} \text{¥. 103,267.50} \\ \text{(商品賣上高)} \end{array} + \begin{array}{l} \text{¥. 3,820.00} \\ \text{(1時生活援助金)} \end{array} = \begin{array}{l} \text{107,087.50} \\ \text{(日計表合計金額)} \end{array}$$

$$\begin{array}{l} \text{¥. 107,087.50} \\ \text{(日計表合計金額)} \end{array} - \begin{array}{l} \text{¥. 93,436.20} \\ \text{(賣上原価)} \end{array} = \begin{array}{l} \text{13,651.30} \\ \text{(純利益)} \end{array}$$

① 同上中生活困難者に対する頒布

9名 419袋

¥. 14,933.00

賣上原価

¥. 3,820.00



$\text{¥} 107,087.50$  (日計表合計金額) -  $\text{¥} 93,436.20$  (蒙工原価) =  $13,651.30$  (純利益)

① 会上中生活困窮者に対する頒布  
 9名 41突  $\text{¥} 14,933.00$  賣値+美額  $\text{¥} 3,820.00$

② 会上中青蘭会に対する貸出品  
 6会 460突  $\text{¥} 23,935.00$

昭和24年6月30日 商品在庫

34,661個  
 2/年 140箱

$\text{¥} 336,347.76$

内譯 雜貨 28,919個  $\text{¥} 200,443.10$

金物 2,000個  $\text{¥} 92,761.36$

陶器 3,741個  $\text{¥} 40,019.60$

食料品 3/年 140箱  $\text{¥} 3,123.70$





昭和二十三年三月十日発行



恩賜 財団 同胞援援會高知縣支部

# ニユース

No. 3

毎月10日発行

発行所  
高知縣高知市相生町78  
同胞援援會  
高知縣支部  
(電話826)  
編輯兼行人  
桂井和雄

## 縣支部純民間社會事業

### 團體として改組出發

遷案の本縣支部の改組独立法人化は昨年未請假の準備を進めていたが愈々三月末實現を期して改組に着手した。

其の第一段階として

▲支部事務局の地方廳舎外移転  
会の純民間團體としての自主性を確立するを以て二月十七日縣廳舎から出て左記へ移転した。

高知市相生町七八

向南 寮カ (電八二六)

▲従来知事、民生部長、厚生課長が兼務していた支部長以下の役員の解任手續を本部へ申請新機構のもとに民間社會事業家並に有識有能者による役員機構を整え強力に発足することとなつた。

▲各郡、市支会

前記縣支部役員解任に伴い郡支会長、副支会長、幹事に委嘱せられていた各地方事務局(支廳)長、総務課長、厚生主任に對し、こゝから解任手續を終了した。尚支會事務局は当分の間従来通

り地方廳舎内に於いて執務するが將來は適當な町村内に事務所を独立せしめる予定である。

○設立準備委員會

- 委員長 藤田義典
- 委員 山本義孝、橋本重雄、高崎市子、大田正男、竹内英省、岡本重雄、桂井和雄

○上記委員により三月七日設立準備會を開催、評議員候補三十八名を推薦、近く準備狀を

発し第一回評議員會を開催し正式に支部長以下の役員が発令され、遂に名実共に強力的民間社會事業團體として発足することとなる。

○尚現在支部長事務取扱は桂井主事(事務局局長)が之を代行している。

## 事務局では 二十三年度事業計画を研討中

本縣は各種罹災者比較的多くインフレも四回四縣隨一の幅があり此の世相下にあえぐよるべない寡婦孤児等の陰さんな日常、三万八千名に上る引揚者の生きんが為めあがき等を注視するときは本會の使命は愈々其の重要性を加える事を痛感する次第であり

支部事務局では目下政府並に縣當局の厚生新施策に順応し縣下の諸租面並に予算に樹立中であり近く第一回評議員會に附議することとなつている

支會分會其の他地方機構につれてもより強力的な業務機構を確立し事業の運営を強化する計画である。

## 大正町大火罹災者の急援

去る三月四日押通多郡大正町田野々大火災に因る罹災者二四三世帯一三〇〇名に對し当支部では縣厚生課と協力して心息物資を轉換提供すると共に翌五日又野生活活相談部主任が縣職員と共にトラツクで現地へ急行し千り紙四十八メを見舞品として贈つた。

尚現場急援護につき大正町當局と協同して万全を期しつつある。





### 昨秋 関東東北風水害

罹災者より  
縣民への感謝あつまる

昨耳本会は高知縣、高知新聞、高知日報と共に、賑濟に義捐金を募集すると共に、支部手持物資約二〇〇〇点を急送した。所十月以降、宮城、群馬、山梨、栃木各縣同胞援護会支部並に罹災町村及個人から丁寧な謝状、領收証が送られてくるので、左に一二枚萃して縣民の温かい同胞愛に謝意を表する。

(一) 日増しに寒さもうすらぎ、幾分しのぎよくなり、ました。(中略) 昨秋本縣の水害に対し、貴縣皆々様から御ねんごろなる救々の御見舞品頂戴致し、誠に有難く、厚く御礼申上ます。お蔭様で私共罹災者一同大助かり、致し、皆々喜び、御厚情を深謝致して居ります。未算ながら貴縣御一同様の御健康を祈り上げます。(後略)

(二) (前略) 昨耳の風水害には、貴縣皆様の御同情身に、涙みであり、かたく感じて居ります。御蔭様であれ、以来罹災者一同元氣に復旧に努力致して居ります。(中略) 貴縣皆々様の御万福をお祈り致して、簡單ながら御礼まで。  
二五、一九  
栃木縣那須郡野崎村 中山二郎



所から  
村から

#### △高岡支会頒布所通信

二月十一、十二両日(旧正月)須崎南原町青年会の協力を得て、生必需品の街頭大売出しを実施した。所売上高六千余円、利用人員三百余名であつた。当日は平日より車道を下、利用者に大好評であつた。



### 本會 會員

本年二月同胞援護会の主旨に賛同せられて、輝く會員となられた方々は左記の通りであり、会一同感謝している。

種類	會員芳名 (敬稱略)	住所
特別	一〇〇〇〇	市一宮
特別	一〇〇〇	市西弘小路
特別	三〇〇〇	市長栄
特別	一〇〇〇〇	幡多郡清水町
特別	二〇〇〇	三崎町
特別	五〇〇〇	宿毛町
普通	田中 龜一	中野 寛
普通	平野 隆雄	矢野 隆
普通	中西 十里	森田 治作
普通	小松 茂明	山松 茂明

### あにたかい 同胞愛のしるし

本会會員規程により加入會員に対する表彰方法として、全国統一の會員章(銀イブシ胸牌)が、この程本部から到着した。ので會員各位へ個人法人その他へお届け致すこととなり、なりました。方法はその部各位へは、各町村分会を通じて市内の方には、直接支部より郵送又はお届け致します。尚、感謝状、胸牌等も近く出来上ります。縣民の皆様が一人でも多く此の同胞愛のしるしである會員章を胸につけられるよう各支、分会の方々の御勧誘と縣民の御支援を願います。

### 旭駅前 本會啓発看板塔に 賛助の方々

縣支部では昨年末土讃線旭駅前広場を利用して同胞援護思想啓発普及の啓発看板を施設し、之に併設して、広く賛同各商社、公益団体の本告を取扱つて居るが、本年二月までに、護資金を提出せられ、本会は右感謝のしるしに、広告掲示中の方々(上街区)は左記の通りである。

- ◆本會賛助各商社団体名
- 施設場所 旭駅前広場
- 市旭上町 島村電氣商会
- 市旭上町 沢村木材工業株式会社
- 市旭上町 川村 茂 森 所
- 市旭上町 旭 投 産 所 (電六九)
- 市旭上町 旭 ち と せ 館 (電六九)
- 市旭上町 旭 ち と せ 館 (電一一二)
- 市旭上町 高知縣小連送組合聯合会
- 市旭上町 高知縣瓦工業株式会社 (電三三六)
- 市旭上町 旭木材工業株式会社
- 市旭上町 四国銀行旭支店 (電一六八)
- 市旭上町 横山 眼科
- 市旭上町 中須賀
- 市旭上町 藤手町
- 市旭上町 本丁筋五百
- 市旭上町 有 信 洋 行
- 市旭上町 村田 金 物 店
- 市旭上町 大 黒 商 店
- 市旭上町 通町五百
- 市旭上町 東亜産業株式会社 (電七三八)
- 市旭上町 高知出張所
- 市旭上町 寺尾 木 工 品 製 作 所 (電七三八)
- 市旭上町 酒 池 (電一〇三六)
- 市旭上町 嶺南 窯 業 公 司
- 市旭上町 株式会社 松井 薬 品 商 会

### 憩う 向南寮

児童の日頃の猛訓練を重ね、劇遊遊戯等の名技に、しばし浮世のうさを忘れ、浦戸湾の一角に天國が現出した。ようであつた。



居ります(中略)貴縣皆々様の御  
万福をお祈り致して簡単ながら御  
礼まで  
二五、一九  
栃木縣那須郡野崎村 中山二郎

**地方欄** 所から  
村から

△高岡支会頒布所通信  
二月十一、十二両日(旧正月)須崎南  
原町青年会の協力を得て生必需品  
の街頭大売出しを実施した所売  
上高六千余円、利用人員三百余  
名であつた  
当日は平日より準備を下げ利用  
者に大好評であつた

**各施設の動き**

●ちぐさ寮(母子寮)の  
自治生活

支部直営の市相生町母子寮、ちぐさ  
寮には子供を抱え未亡人達八世帯十八  
名が薄俸な境遇を慰め励まし合ひな  
がら自立生活を送つてゐるが、寮母  
の桶目保健婦は郡部の施設に恵まれ  
ない母子慰問のため出張勝ちなため  
入居者の申合せにより自治会が結成  
せられ左の申合せを掲げて明るく清  
潔な寮生活をきつてゐる。  
ちぐさ寮自治会申しあわせ  
○身なりは質素にして清潔なものを  
つけましよう  
○朝晩雑巾に手をかけましよう  
○身廻り品、器物類、寝具などいつ  
も整頓しておきましよう  
○親しい仲でもつとめて礼儀を忘れ  
ないましよう  
○自分の好まないことは他人に強い  
ないましよう

尚感謝状、両縣等も近く出来上りま  
す。縣民の皆様が一人でも多く此の  
同胞愛のしるしである会員章を胸に  
つけられるよう各支、分会の方々の  
御勧誘と縣民の御支援を願います。

○ほかの人はどうてもよいと云う考  
え方をすてましよう  
○何事もつつみかくなまいまよう  
○暮しは極く簡易にきりつめましよう  
○共同で使用する場所の品物は特に  
きれいに大切にするように注意し  
ましよう  
○室内を歩く足音にも注意しあつて  
特に安眠を妨げないまよう  
○朝晩の挨拶は子供にもぬからない  
まよう  
○婦人の足しなみをみださないまよう  
○生活は食しくとも心はゆたかに持  
ちましよう  
昭和二十二年五月 以上

●三里保育園の卒業式挙行  
支部直営の市三里保育園ではか  
ねて保育中の幼児一五四名の中八  
二名の卒業式を三月十八日桜花の  
下で挙行せられる予定である。可  
愛い坊やや嬢ちゃんはこの日江  
川園長さんから保育証書をいただ  
き種々のお遊戯を交え一日を楽し  
く過すわけである。  
全園では三月七日お遊戯  
発表会を催うした

三月七日(日曜)三里中学講堂で  
園児一五四名総出演の第一回遊戯  
発表会を開催。池上市民生委員事務  
島本市議(本会議)はじめ多数の来  
賓と父兄母姉二十余名が来会、園

三丁目 大黒商店  
通町五丁目 東亜産業株式会社(電七七八)  
高知出張所  
水通町 寺尾木工品製作所(電七三八)  
起前町 酒 忠 組(電一〇三六)  
北条公人可 嶺南産業公司  
株式会社松井薬品商會  
四丁目

●憩う向南寮  
海外引揚者、復員者達が帰郷の際  
長途の疲れを休め、故郷の香りをし  
みじみと味わう場所である高知駅  
前向南寮は昨冬以来引揚地帯からの  
引揚者絶のため昨今は利用者が少く  
一月二月共引揚者定着後の一時利  
用者僅一〇〇名前後(各月共)二月  
には東京相模原元陸軍病院傷痍軍  
人三名が当寮所用のため投宿十  
日滞在した  
然し縣世話課の観測では四月以降ソ  
連地区からの復員者三千六百余名  
其の他地区計一十七百余名が引揚き帰  
郷の見込で其の節には駅頭に出迎え  
その他寮務も繁忙を来すものと予  
想せられ寮内は含監門田夫妻の毎日  
塵一つ残さない拭き掃除に美しく清  
められてゐる

●須崎物資頒布所の入荷  
在庫少なくなつたため三月十八日  
支部頒布所から左記品目を荷受けの  
予定  
アルミ盆 一ツケ  
アルミ鍋 二ツケ  
洗濯石鹸 一箱  
茶碗皿類 約一〇〇個  
洗面器 二個  
其他日用品 約三〇〇個

児達の日頃の猛訓練を重ねる劇遊  
遊戯等の名技にしばし浮世のうさ  
を忘れ浦戸湾の一角に天國が現出  
したまようであつた



### 全国孤児写真展を各地で開催中

同胞援護会本部調製の全国孤児写真(各府縣収容中の三百名余分)の縣下展示会は第一着に昨午十二月高知市に於て縣厚生課と共催で三日間(予定二日間を延期)開催し相当の成績を収めたが本年二月以降左記各地で実施した。

- 二月二日 安藝町
- 二月二日 後免町
- 二月二日 香美郡山田町
- 二月二日 伊野町
- 三月二日 須崎町
- 三月七日 須崎町

右の成績を綜合すると概ね次の通りである。孤児親縁者発見 十三。捜索申込 六件。孤児養育申込 二九七。八七。右養育申込については支部生活相談部に於て申込者居住地町村分会と共同し双方へ連絡を取り孤児を幸福な生活に入るよう斡旋中である。右各地実施については地元町役場の多大の援助を受け並に宣傳部面に高知日報関係の格別の協力を得たことに対し一回感謝している。尚左記実施の予定である。

三月二日 中村町  
香美支会では野市町でも実施方を要望している。(東京通信)  
全国孤児写真真氏示會の成果  
本部並に二府縣の展示会の綜合成果は孤児親縁者発見七二名である。

昭和二十二年度一般募金の成果確保について  
榊尾の努力を！  
二十二年度本会救護事業費の最大財源で

ある一般募金の実施については昨年七月以降各支会並に町村分会の格別の御協力により既に募金済み(但し支部納入済)のものも別表の通りであるが多くの町村では共同募金、学校関係等附行属其の他複雑な事情のため未處理の分会が少くないようであるが、  
写度未も日頃の間に迫りおる關係上早急に実施し相当の成果を挙げられたい。  
尚募金額は本募金要綱に基づき其中四七、五%が分会引当金となり適宜法外保護費に使用せられるものである。

分会当局には二十三年三月八日付支部長名、同胞援護資金寄附金納入方について、を御参照の上年度内に完納を期せられたい。  
募金済みの町村分会(三月八日現在)  
安芸郡(四ヶ町)四三、五三〇、香川郡(三ヶ町)七四、五一九、香美郡(二ヶ町)八、八四四、高知郡(二ヶ町)四、九二九、五五、土佐郡(五ヶ町)三九、七九五、幡豆郡(二ヶ町)四、五五二、八五、計 四八五、八七三、四七七

各支會へ  
援護物資代金の早期納入を！  
昨年十月下旬下へ頒布した援護衣料等の代金納入は三月十日現在左記の未納があるが、会費金(特別会計)の運上上不都合があり且つ本月は年度末でもあり、至急南原町村分会へ御連絡の上完納せられたい。  
計 一五〇、五八九、〇九

人の往来  
一月三十日 高知縣家婦相且會長横川女史末局  
二月一日 北斗會長藤山武美氏末局、瀧ノ領よ

りの引揚者更生団体設立振務の爲め、  
二月二日 支部、松崎書記安キ町(三日間)  
全国孤児写真展並にバザール開催の爲め、  
二月二七日 支部、西本主事補、松崎書記等香美郡山田町へ(三日間)全国孤児写真展並にバザール開催  
三月一日 支部、桂井主事山口市へ、西部各縣支部事務員會議列席の爲め、六日端局。  
三月三日 高知郡別府村分会定例厚生主任末局、別府、長者西村、審議會、南催打合せの爲め、高知地方事務所、横田総務課長末局、高知支會整理並に一般募金につき打合せ。  
三月五日 高知地方事務所、山崎厚生主任末局  
三月八日 縣共同募金委員会配分委員(八川又敏、正、榊尾高新社長、十頭千代女史、福田南、義理事長等)末局、引續き市内各施設巡視(桂井主事案内)  
三月九日 支部、桂井主事、楠目保健婦、佐竹主事補、高知郡別府、長者西村へ、西村審議會出席並に愛護世帯慰問激励の爲め

◎厚生資金の貸與並に償還実績  
本会は引揚者救済者その他生活困難者の爲め厚生資金を貸與中であるが  
二月分の実績は左記の通り  
貸與 二件 計 三、〇〇〇円  
返還 一件 一、〇〇〇円

編集後記  
支部改組は決定次第臨時ニエースで発表の手定です。  
各分会からの「援護通信」をお願いします。毎日多忙でしょうが一分会援護の実相は縣下社会事業の基石であり、是非発表さしていただき  
(西本)

編集後記  
支部改組は決定次第臨時ニエースで発表の手定です。  
各分会からの「援護通信」をお願いします。毎日多忙でしょうが一分会援護の実相は縣下社会事業の基石であり、是非発表さしていただき  
(西本)



昭和二十三年三月三十一日発行



恩賜 財団 同胞援護會高知縣支部

二二二一又

No. 4

三月臨時號

発行所

高知縣高知市相生町78

同胞援護會  
高知縣支部  
(電話826)

編輯兼行人

桂井和雄



縣支部新役員陣は左記の通り決定し強力に再発足した

三月二十一日第一回評議員會の成果

縣支部改組に関する設立準備委員會ではかねて委員中の評議員候補者(三十五名)よりそれぞれ承諾書を送りいただいたので、三月二十一日縣議會會議室で第一回評議員會を開催した所、議決の中にも敬いなく評議員二十九名(市及各郡)の御参集を得、議長に山本義孝氏が選任され支部寄附行為議決の上評議員全員の推薦により支部長、副支部長、理事、監事の選任が行われた。この中より二十三年度事業計画並に予算編成につき活発な討議を展開して午後四時終了に純民間団体として縣下社会事業家、教育思想家、宗教家等の強力なスタッフを整えて強力に発足すること、なつた。新役員陣容は次の通りである。

●役員芳名 (順不同 敬称略)

支部長 山本義孝 縣議會議長

副支部長

馬場敬春

引揚者泉連盟理事長

理事

大西正男

引揚者元支部参謀

理事

橋本重雄

泉議會議員

理事

岡本直雄

高知マ専校長

理事

岡田昌直

町田病院院長

理事

竹内英省

引揚者泉連盟事務局長

理事

桂井和雄

(常務)元支部主事

理事

廣瀬菊子

市議會議員

理事

高崎市子

社会事業家

理事

渡辺賢吉

高知日報論説委員

理事

福田義郎

高知果商工業會所理事長

前山本新支部長の就任挨拶に引続き前支部常任幹事森田縣厚生課長より豫を代表して新機構による今後の支部の発展と活躍について祝福と激励の挨拶があつた。評議員は三名の辞退者を除き左記三十二名に決定した。(順不同 敬称略)

番号	氏名	住所	現職
1	山本義孝	高知市	縣議會議長
2	馬場敬春	全	引揚者泉連盟理事長



番号	氏名	住所	現職
27	大島 恭龍	全	明和寮長 佛敎連合会常務理事
26	大原 直喜	全	旭愛育会長
25	池知 義一	全	果林業会長 果公安委員会 旭愛育会長
24	水野 於克彦	全	市会議員 水野病院長
23	上田 修一郎	全	高知高校講師
22	吉松 清	全	市中教員 市議會議員
21	野中 慶太郎	全	土佐食糧会社社長 果安委員会 市中教員
20	横川 豊野	高知市	縣矯風会々長
19	夫 虎喜	安藝郡宇田町	民生委員
18	八井 田實	安藝郡山田町	八井田病院々長
17	佐井 猛夫	高岡郡蓬川町	高岡郡農業会長
16	前田 東水	安美郡在所村	民生委員
15	野村 健一郎	全	野村産業会社々長
14	福田 義郎	全	農商工會議所理事長
13	廣瀬 菊子	高知市	市会議員 市会議員 市会議員
12	見元 弘尚	吾川郡伊野町	見元病院長 県会議員
11	竹内 英省	全	引揚者果運事務所長 日新論議本部長
10	大山 寛	全	土佐敎会牧師
9	岡本 重雄	全	県立女専校長
8	町田 昌直	全	町田病院長、果公安委員
7	青木 俊子	全	高知友の会幹事
6	千頭 千代	全	高知慈善協会常任理事
5	高崎 市子	高知市	社会事業家
4	橋詰 延壽	高知市 (長岡郡相生村 西弘小路)	縣議會議員
3	大西 正男	高知市	弁護士

番号	氏名	住所	現職
28	土居 政之助	吾川郡伊野町	日本製菓株式会社伊野工場長 高知県無常務理事
29	海路 昌臣	高知市	高知新聞論議委員
30	渡辺 寅吉	全	高知日報論議委員
31	池上 茂	全	市民生委員常務理事
32	桂井 和雄	全	同胞援護会果支部主事

支部顧問推戴  
第一回評議員会の席上山本支部長の発案に基づき全  
員一致で左記各位を支部顧問に推戴した。

- 顧問芳名 (順序不同、敬称略)
- 自由党總裁 吉田 茂
  - 参議院議員 入交 太七
  - 参議院議員 西山 富子
  - 全 高良 富子
  - 全 寺尾 重
  - 参議院議員 黒岩 重
  - 全 佐野 晴
  - 全 長野 廣
  - 全 林 一
  - 全 比原 治
  - 全 山本 吉郎
  - 全 栗本 吉
  - 全 大野 結城
  - 全 中島 武夫
  - 全 高知市議會議員 高知市議會議員
- (以上十四名)

同胞援護會高知縣支部

寄附行為の認可手續申請中

さきに本部より指示せられた支部

寄附行為の準則に基づき事務局で立案した別紙縣支部の憲法とも云うべき寄附行為案が三月二十一日第一回評議員会で可決せられたので支部で

其の自立を促進すると共に同胞

相扶の博愛精神を啓発して社会

事業の民主化を固り平和で文化

的國家の具現に寄與するたため必

要な各種事業を行う。

(事業種目) 療養救護、母子、孤児、

準孤児特別救護を始め十二種目

に亘り所要経費三、五八、六〇円

之は予算編成の技術的關係のため

あつて事業内容に於ては決して減縮

をなく実態調査費、育英扶助費の増

額、託児所の新設、支部事務局(会館)

新設費、地方町村の援護施設に対す

る助成等眞に援護対象者の血肉とな

る事業を強力に推進する、尚本事業

計画並に歳入歳出予算は四月号に詳



27	大島恭龍	全	明和寮長 佛教連合会常務理事
26	大原直喜	全	旭愛育会長
25	池知義一	全	県公安委員長 県林業会長
24	水野於夷彦	全	市会議員 水野病院長

- 高知新聞社長
- 高知日報社長
- 高知市議會議長
- 栗尾結城
- 大野武夫
- 中島龍吉
- (以上十四名)

恩賜同胞援護會高知縣支部  
寄附行為の認可手続申請中

さきに本部より指示せられた支部寄附行為の準則に基づき事務局で立案した別紙縣支部の憲法とも云うべき寄附行為案が三月二十一日第一回評議員会で可決せられたので支部では直ちに新役員名簿其の他必要書類を添え本部宛承認を求めると共に関係官廳に對し認可方申請の手続をとることとなつた。



昭和二十三年  
支部事業計画並に歳入歳出豫算等可決せらる

三月二十一日第一回評議員会の席上別紙事務局案につき主任常務理事及び各課主事補より説明し全評議員の検討をいたした結果全会一致で原案通り可決せられた。

△事業計画  
(要旨)支部は國の行う生活保護法並に児童福祉法運営の線に沿ひ県下の生活に困窮の者及び身寄りをなき母子並に孤児等に對し機動的な接護と生活指導を與え

其の自立を促進すると共に同胞相扶の博愛精神を啓発して社会事業の民主化を図り平和で文化的國家の具現に寄與するため必要各種事業を行う。

事業種目) 緊急接護、母子、孤児、準孤児特別接護を始め十二種目に亘り所要経費三、五八、六〇〇円を計上している特に本年度は、施設なき母子寮の設営運動、を強力に展開して母子接護事業に劃期的成果を期することとなつた。

△歳入歳出豫算

一般会計は歳入歳出共五、六八、五〇〇円で別に特別会計物資調達費一、二〇〇、〇〇〇円である。

一般会計  
歳入 合計 五、六八、五〇〇円  
歳出 合計 五、六八、五〇〇円  
歳出経常部 四、六三、九五〇円  
歳出臨時部 一、〇五〇、〇〇〇円

特別会計  
物資調達費合計一、二〇〇、〇〇〇円  
右は各支会、分会予算を包含したものである。右一般会計の金額は前年度に比し一〇八万九千円の減である。

之は予算編成の技術的關係のためであつて事業内容に於ては決して減縮をなく実態調査費、育英扶助費の増額、託児所の新設、支部事務局(会館)新設費、地方町村の接護施設に対する助成等眞に接護対象者の血肉となる事業を強力に推進する。尚本事業計画並に歳入歳出予算は四月号に詳細発表する。

第一回理事會開催

三月廿七日市相生町向南寮に於て第一回理事會を開催した。

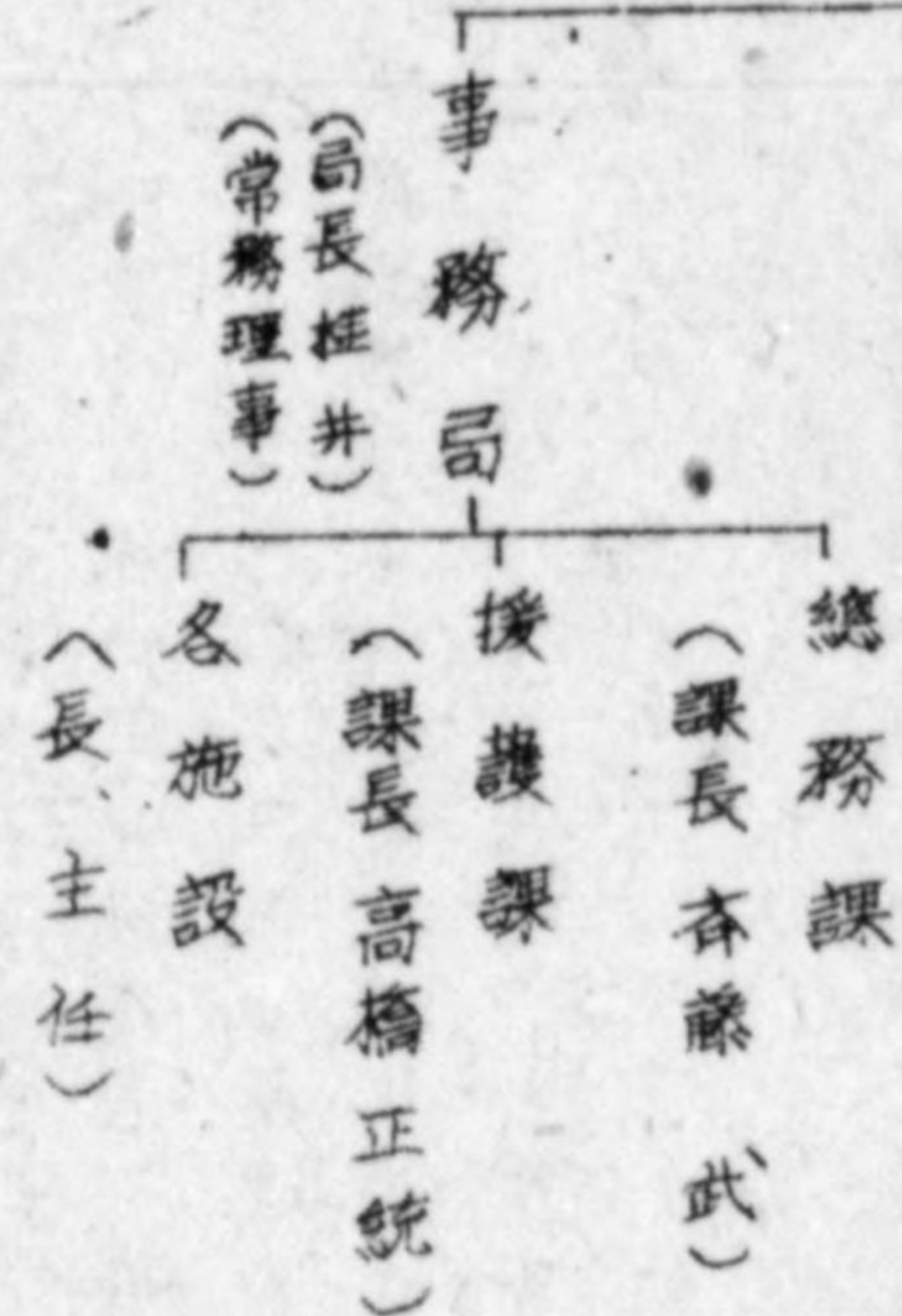
山本支部長が議長となり去る三月廿一日第一回評議員会の委任に基づき代行評議員会の性格で左記各規程を全会一致可決した。

- △恩賜同胞援護會高知縣支部 処務規程
- △財團同胞援護會高知縣支部 會計規程
- △右 職員服務規程
- △右 給與規程



事務局の新機構は上に処務規程に  
より左表の通りとなつた。

支部長—副支部長



役員と職員との挨拶

右に引続き別室で出席役員及び全  
職員集合し山本支部長から就任接  
拶、各役員紹介あり之に対し事務  
局長斎藤課長が職員一同を代表  
して答辞があつた。

臨時職員會議開催

上記理事会散会後向南寮で臨時職  
員會議を開催した。席上馬場副支部  
長より就任の経緯、抱負、希望等發  
表を皮切りに桂井事務局長司會の下  
に各職員より活潑な意見等の開陳が

あり今後事務局の運営上益する処が  
多くなつた。  
縣支部の独立法人化の手続は四月  
中旬完了の見込の旨桂井常務理事か  
ら説明があつた。  
職員會議は將來毎月第一土曜(午  
后)開催の予定。

支部職員も

本會會員に

今回支部の新発足を記念し、事務  
局並に各施設職員十六名は各々三  
月分給料の中から一〇〇円—二〇  
〇円を割いて本會の、通常會員、  
となつた。

三月臨時号

編集後記

支部改組後の際下援護事業の進展  
如何を覗うべき。二十三年度事業  
計画並に歳入歳出予算。について  
は四月号で詳細発表します。御期  
待下さい。  
(西本)



昭和23年10月20日発行



財団法人 同胞援護會高知縣支部

# ニュース

(青蘭會特集號)

No. 5

10月号

発行所

高知縣高知市相生町78

同胞援護會  
高知縣支部

(電話826)

編集兼発行人  
桂井和雄

## 未亡人よ 希望を新に

支部施設なき母子寮設置運動  
提唱

戦後の社会状況の窮乏化は、多くの社会的犠牲を生んだのであるが、そのうち最大の犠牲者は一家の支柱を失った家庭である。

夫と母とも頼み、何ものにも代え難き夫を失うと云うことは、精神的にも、物質的にも、言ふに言われぬ苦しさがある。今日の如きインフレ下で、これ等永く人の苦境は悲惨の極みである。

或は物質的に恵まれているとして、今日迄封建的思想で教育され、生活して来た日本には、その傳統が根深く残り、復家・といううらさびしい名の下に冷たい足かせで縛られ、訴えを聞き途も言葉も知らず、社会の厄隅に泣く寂しい境遇にある未亡人の数も亦多く、これら苦境に有る者の数は、全国で一八八万、本縣で二万三千に上つてゐる。この多くの保護対象者に対し、政府その他の機関に於ての救護の手は、一応さし伸べられてゐるのであるが徹底されず、一方苦境はいよゝゝ深刻の度を加えつゝある。実情にあり、緊急対策の必要を痛感されるのであつて、一日も早くこの苦境より引上げ更生の道を拓き、希望の人生に目

ざのしめる事こそ、民主安定の基礎であると思ふのである。

生活保護法による最低生活も事業保証されざる限り、児童福祉法も亦公布早々のため施設疎略されず、加えて戦時日本の経済は、必要な施設の早急なる実現を望まれます。即ち夫を失つた母子が誰にも遠慮せずのびのびと子女の教育と生活の出来る母子寮も児童福祉法第二十三條に市町村長は保護者が配属者のない女子又は之に準ずる事情にある女子であつてその者の監護すべき児童の福祉に欠けるところがあることを母子寮に入所させて保護しなければならぬと規定せられ母子保護の爲に市町村長は母子寮を設備しなければならぬのであるが、現下の諸事情より早急に望めない実情から同様の措置をとつて、但し附近に母子寮がない等止むを得ない事由があるときはこの限りでない」とことわりをしてゐる。

現在日本に母子寮は一五八ヶ所ありその収容人員一万三千三百人、本縣では高知市経営の、高知更生館、慈善協会経営の、なごし寮、と当支部経営の、ちぐさ寮、の三ヶ所での収

容人員百人という僅かなものであり、前述の該当者の数に対し二百分の一弱という実情である。こゝに於て当支部は、縣下未亡人母子に自主的な結束を促し、俱に苦難の途を切り拓かしのんと、施設なき母子寮、設置運動を提唱し、その目的とするところは同じ運命の下にある未亡人並にこれに準ずる者同志が結束して残された力を出し合つて共に助け励まし合い、更生の途を拓くと共に封建的な冷たいさげなを断ち切つて希望の人生に目ざめる爲の自主的団体であつて、これを名づけて、青蘭會と稱してゐる。この目的を達成する爲に、例示されるものとして

1. 会員相互の啓発修養と扶け合いの會合
2. 講演会の開催
3. 生活上相談、職業の輔導並就職の斡旋
4. 育児育英の相談
5. 再婚の推進
6. 労働交換と労働提供の組織
7. 会員更生事業の企画と実践
8. 協同事業の経営
9. 生活必需品の頒布
10. 連絡機関誌の発行
11. 同胞援護會並に同種目的団体との連絡提携等である。

この運動は縣支庁、地方事務所、各町村当局の支援協力を得る他、民生委員等に婦人民生委員の共鳴と絶大な支持を得各地に結成を見つゝありこのことは他縣に及び更に本會本部亦該運動を全国的に取り上げる意嚮を以て措置されつゝあるのである。



結成青蘭會の活動状況

今日まで結成され、町村青蘭會の活動状況を述べると、その通りである。
●長者村青蘭會（会長高水琴恵女史）
首理見をもつて、未亡人を説得し、これを會の子として、高知盲啞学校に入學せしめ、その後、會の幹部は、絶えず、母に代り、学校を訪問、慰問、激励し、よくその責任を果しつゝ、あり、このことが、一般をして、感服せしめるところとなり、三件の盲啞児をこの會に、轉送、方甲入あり、共にその入學手續を、斡旋、に愛と文化のいびきを、在村全体に及ぼしている。

●吉良川町青蘭會（会長松本善女史）
七月結成と共に、未亡人の経済更生を期し、松本会長は、岡村町長を、動かし、この町に、適した事業の、選定を、と、先進地を、一、道、向に、互り、視察し、兼、工品、製産を、
●伊野町青蘭會（会長村井絹子女史）
婦人運動の盛んなこの町に、既成派に、促われない、純一無雜な、未亡人、だけを、の、會の、生れた、ことに、特異な、ものを、考へ、之を、お互に、慰の、勵まし、合う、う、ち、に、婦人、として、の、地位の、向上を、図り、因、窮せる、會員に、對し、團結の、力を、もつ、て、これを、援護、更生、せしめ、る。

青蘭會綱領

- 一 私どもは、この時代の痛苦を担う女性の自主的団体として結束し、生活再建の爲めに励まし、慰め、扶け合ふ。
- 二 私どもは、各人の自由を尊重し、封建性の束縛を打破し、民主社会建設の爲めに努力する。
- 三 私どもは、この團結の力による、生活の確立と伸張を期し、平和の新國家確立に邁進する。

適当と認め、機械の購入まで措置し、資金は、希望會員の、共同、借入れ、とし、之、又、岡村町長並に、新尾厚生主任の、努力、によつて、生業資金の、借入を、決定、作業場は、元塩倉庫三〇坪を、譲り、受け、製糖機、製菓機各三台を、備え、付け、會員十三人、が、之に、從事し、更生の、途を、拓いて、いる。尚、原料、糖の、購入、その他、について、も、民生委員、兼、業、同、組合、学校、警察、当局の、支援を、受けて、いる、が、特に、他、會員、が、之、等、從業、會員の、ため、に、出動、な、み、だ、ぐ、

ましいい情景を呈している。この事は會員の結束と会長並に幹部の考へ方の深いことと、関係当局の支援協力の一致による結果であつて、將來本事業の進展を約束されている。中川校長祝詞の中「この會は本町の復興の中心勢力となれ」との激励の言葉を會員は皆忘れないこと、を、信す。

●安藝町青蘭會（会長長崎雪見女史）
結成早々であるが、町役場、小、路、援護主任、天野民生常務、各、区、婦人、援護委員の、特別の、支援により、寺内職の、幹、旋、生、活、必、需、物、資の、頒布並に、用、婚の、幹、旋、など、強力な、推進を、つ、け、將來の、発展が、期待、されて、いる。

このことは、ひいては此の町の平和と生活の淨化に寄與することを得るものと信する。既に洋裁講習が盛大に終り、會員各自自立の心構えを植へつけたのである。

●土居村青蘭會（会長門田小菊女史）
結成向もないこの會であるが、教養ある會員を多く持つて、いる、強、味、は、必ず、や、独自の、運営、方法を、見、出し、活、発な、推進があるものと、確信、され、る。結成、当日、日、来、口、婦人、民生、委員、が、目、を、助、け、よ、し、と、勵、まし、た、言葉、を、その、ま、に、全、會員が、奮、起、する、もの、と、期、す。

●吉野村青蘭會（会長川村行雄女史）
嶺北の草莽きこ、吉野村に、三十三人の、同じ、境遇の、者、同志が、お、互に、教、勵し、合、い、助、け、合、い、合、ら、れ、る、根、に、苦、難の、途を、切、り、拓、いて、いる。こ、れ、も、同じ、よ、う、に、一、般、有志の、支援が、あり、將來の、発展が、期待、されて、いる。

●室戸岬町青蘭會
九月十七日結成したばかりで、まだ陣容も



●吉良川町青蘭會(会長 松本善次史)  
七月結成と共に未亡人の経済更生を期し、松本会長は岡村町長を動かしてこの町に適した事業の選定を、先進地を一週間に亘り視察し、蒸工品製産を

の言葉に会員は皆忘れぬことゝ信ず  
●在所村青蘭會(会長北村春子史)  
村の生活を明るくすると共に会員の経済維持を図るため生活必需品

に採られたこと、特異なものを考  
の会の生れたことに特異なものを考  
之られる。お互に慰の励まし合おう  
ちに婦人としての地位の向上を図り  
因窮せる会員に対し困難の力をもち  
てこれを援護更生せしめる

このことは、ひいては此の町の平和と生活の淨化に寄與することを得るものと信ずる。既に洋裁講習が盛大に終り、会員各自自立の心構えを植えたのである。  
町当局並内田民生常務外民生委員等に福人民生委員の所入りで誕生したこの会がなおこれら有志の協力を必要とするところが、この町に於て特に望まれる。

示す最もよき一つの現れであり、最近更に希望希望者の申出てを一部で受けつけている。  
●土居村青蘭會(会長 阿部小菊史)  
結成向もなないこの会であるが、教養ある会員を多く持つてゐる強味は必ずや独自の運営方法を見出し、活発な推進があるものと確信される。結成当日、日米口婦人民生委員が、日米の助けよしと励ました言葉をそのまゝに全会員が奮起するものと期待され、去る十月十二日、日米口婦人民生委員及び会長他一名が、出高支部

●吉野村青蘭會(会長川村行雄史)  
嶺北の草莽きこ、吉野村に三十三人の同じ境遇の者同志がお互に激励し合い助け合いながら、苦難の途を切り拓いていく。こゝも同じよう、一般有志の支援があり、将来の発展が期待されている。  
●室戸岬町青蘭會  
九月十七日結成したばかりで、まだ陣容もとのわかないのであるが、不幸な未亡人とその子の多いこの町、一日も早く会の運営がされるよう切望する。

●越知町青蘭會(会長大原輝美史)  
「結成するまで多少の経費が入るだろう」と民生委員會から二千元を出され、ことわかれるように、民生委員町当局が未亡人問題に大きな関心をもち証在であつて、本会の提唱が絶大なる共鳴を得たのであつた。  
結成後民生委員會ではこの会の事業につき種々考究を重ねられ、共同作業所の設置も具体化されて居り、最近青蘭會の主権を以て映画興行を行い、純益一万五千円の基金を得ている。

●別府村川渡青蘭會(会長小野壽子史)  
同院看護會が施設なき母子寮設置運動を始める頃既にこの村の学校に勤める小野先生により未亡人同志の慰めの合いの会が出来ていた。青蘭會発祥のこの会は結成当時会員二十四名であつたが、その中会の方で再婚し幸福な生活に入つた三人の会員と主入戦死の公報があつた会員で元氣な主人の帰還を迎えたい喜びの会員三名が脱会し、現在十八名の少ない会員であるが、小野会長を中心に、互に慰め、慰められ、互に励まし合ひ、苦境の中にも奮然とした希望の日を送つていく。この会の姿も青蘭會のあり方を

●日草村青蘭會(会長入交てる子史)  
十月六日元軍用地処分向題で村を挙げてのさわぎのさ中に、小学校作法室で結成式が、集る者三十名、村役場、牧田原厚生主社の司会で行われた。早速各部代表(班長)を決定し、事業を開始することに決した。「有名無実の会であつてはならない」という婦人民生委員の支援や竹島助役の「村の福祉にまで貢献せよ」との激励の言葉にこの会の輝く將來が期待される。  
●近く結成される町村  
この外に目下結成準備中のもの、美良布、黒岩、田井、野根、馬路、羽根、和喰の各町村である。

●山形村青蘭會(会長江口秀代史)  
幅多郡下各町村にさきかけて九月七日役場をはじめ、学校、民生委員PTA会長その他各団体代表多数、前列の下に盛大に結成された。この会がこれら各団体の支援によつて強く育つものと確信される。幅多

理事九名と共に、高知市内の支部施設の巡回視察に参加した。  
●青蘭會結成に  
事務局員(自三月至六月)  
一月九日 別府村に 桂井局長、梅田日佐竹南主事補、桂井局長、佐竹主事補  
一月十日 長春村に 桂井局長、佐竹主事補  
一月十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
一月十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
一月十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
一月十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
一月十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
一月十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
一月十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
一月十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
一月十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
一月二十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
一月二十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
一月二十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
一月二十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
一月二十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
一月二十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
一月二十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
一月二十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
一月二十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
一月二十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
一月三十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月二十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月二十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月二十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月二十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月二十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月二十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月二十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月二十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月二十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月二十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
二月三十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月二十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月二十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月二十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月二十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月二十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月二十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月二十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月二十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月二十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月二十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月三十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
三月三十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月二十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月二十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月二十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月二十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月二十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月二十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月二十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月二十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月二十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月二十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
四月三十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月二十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月二十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月二十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月二十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月二十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月二十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月二十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月二十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月二十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月二十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
五月三十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月二十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月二十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月二十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月二十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月二十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月二十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月二十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月二十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月二十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月二十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
六月三十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月二十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月二十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月二十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月二十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月二十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月二十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月二十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月二十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月二十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月二十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月三十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
七月三十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月二十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月二十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月二十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月二十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月二十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月二十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月二十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月二十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月二十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月二十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月三十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
八月三十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月二十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月二十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月二十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月二十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月二十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月二十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月二十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月二十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月二十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月二十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
九月三十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月二十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月二十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月二十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月二十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月二十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月二十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月二十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月二十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月二十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月二十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月三十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十月三十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月二十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月二十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月二十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月二十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月二十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月二十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月二十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月二十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月二十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月二十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十一月三十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月二十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月二十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月二十二日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月二十三日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月二十四日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月二十五日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月二十六日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月二十七日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月二十八日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月二十九日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月三十日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補  
十二月三十一日 在所村に 桂井局長、佐竹主事補

●山形村青蘭會(会長江口秀代史)  
幅多郡下各町村にさきかけて九月七日役場をはじめ、学校、民生委員PTA会長その他各団体代表多数、前列の下に盛大に結成された。この会がこれら各団体の支援によつて強く育つものと確信される。幅多















等の人々の「アフタージブ」が必  
要である。このために支部では市愛宕山  
市民住宅十棟、五戸の内一棟五戸へ一  
戸六畳四畳半二室押入、炊事場、便所付  
を開放して其の名も「青蘭亭」と名付

の基金とし残りは参加会員に配分した  
という。会員の親睦と相互扶助の心持  
ちはこのころから生れるのである。尚  
この純益の基金の中から五〇〇円を不  
幸者同胞のために寄付することとな  
りその町共同募金委員会に申出でて郡  
下の青蘭会の働きで一つの示唆を興え  
た。

### 青蘭会との連絡と物資斡旋

支部が青蘭会に連絡した事項並に斡旋  
物資は左の通りである。

#### ○連絡事項

- 1. 結婚希望者推薦について
- 2. 土佐青蘭会「領布」について
- 3. 高知県立保母養成所生徒募集につい  
て
- 4. 未亡人に対する法外援費（育英資金）  
実施について
- 5. 就職希望者推薦方について
- 6. 青蘭会のための生命保険事業実施に  
ついて

○斡旋物資

- 1. 洗濯石鹼 2. 書籍 3. 下駄草鞋
- 斡旋計画中の物資
- 書籍
- ヘレンケラー傳 一部三五円、利益一部一〇円
- 土佐民俗記 一部三〇円、一部二〇円
- 真綿製品
- 大人用タオル 照看、チヨツキ、子供用  
チヨツキ等

### 青蘭会結成記

事務局員の勤き（自七月）  
七月十二日 吉良川町に 桂井局長 高橋課長 前  
田主事補  
七月廿八日 安芸町に  
七月三十日 野原町に

言うべくして口に出し得ざりし無限  
のうらみ  
愛する夫をいとしいわか子を  
幾千里の異域に空しく遊しめ哀しみ  
民衆をして言わしめず

### 青蘭会への思い

- 八月九日 越前町に 桂井局長
- 八月十六日 吉良川町に 桂井局長 高橋課長
- 八月十七日 馬路町に 全
- 九月六日 山奈町に 桂井局長 前田主事補
- 九月十七日 戸戸町に 桂井局長 前田 西尾面  
主事補
- 九月十八日 上居町に 全
- 十月四日 森村に 桂井局長 前田主事補  
理事
- 十月六日 日章村に 桂井局長 高橋課長  
西尾主事補
- 十月十二日 西倉和食 村に 西尾主事補  
馬ノ上赤野 桂井局長 前田 西尾面  
主事補
- 十月三十日 和食村に 桂井局長 前田 西尾面  
主事補

### 予算総額三一九一八〇〇円で行う

- 一 支部二三年度更生事業計画
- 二 後援恩恵の啓発、教化宣傳（三〇〇〇円）
- 三 各種講演会、座談会、展示会等の開催
- 四 後援関係パンフレット、ポスター、圖書の刊  
行
- 五 社会事業功労者の表彰
- 六 要援護者の慰問激励
- 七 生活困難者、引揚者の応急援費  
（二四〇〇〇円）
- 八 一時生活援護金の支給
- 九 引揚者慰籍金品の支給
- 一〇 医療費家庭薬の給與
- 一一 厚生資金の貸付
- 一二 母子援護（施設なき母子寮設置運動）  
（二五〇〇〇円）
- 一三 青蘭会結成指導
- 一四 育英扶助金の支給
- 一五 学用品、育児用品の支給
- 一六 孤児捜査委員の給與
- 一七 社会事業施設の経営（一八二七、八〇円）

### 青蘭会への店

空戸町青蘭会ではこのほど神社の祭  
りや運動会に会員を勧誘して菓子菓  
物類を売り、三七、〇〇〇円の売上を見  
たとの報告がありその純益金の十割は会

- 一 ちびくま（母子保護）（職員二名）
- 二 託児所の新設（予定六〇名）
- 三 婦人ホーム（孤児婦人保護）（十五名）
- 四 三里保育園（一三〇名）  
養護児童収容（一六名）
- 五 向南寮（引揚者慰料宿泊）（一〇〇名）
- 六 仁井田收容所（引揚者無料住宅）（十六世帯）
- 七 愛宕山市民住宅（戦災引揚者住宅）（五戸）
- 八 生活相談所（生活相談、ケイスターカールの派遣）
- 九 物資頒布所（生活物資の有償買値頒布）
- 一〇 後援会館の新設
- 一一 職業指導施設（二八九〇〇円）
- 一二 相生町産産所（ミシン製履産産三〇名  
の直営 五〇名）
- 一三 物部川産産所（油敷、和傘  
の直営 五〇名）
- 一四 委託授産所の助成
- 一五 技能の修得助成と生業指導
- 一六 互助事業の育成（一〇〇、〇〇〇円）
- 一七 要援護対象者の相互扶助更生事業  
の育成助成
- 一八 接護諸費（三〇〇、〇〇〇円）
- 一九 各事業科目に該当しない不時の災  
害等に対する接護
- 二〇 生活必需品物資の調達頒布
- 二一 特別会計を以て生活物資を廉価に調  
達し前記頒布所で頒布する外青蘭  
会員等に貸与頒布せしめ生活接護  
の資とせしめる

### 支部経営各施設はより

復員者を迎える人々  
朝早くからマスクを掛けた門田さん  
が復員者の御用屋の清掃を行なつて居  
られる姿が見える。あ、今朝も一番汽  
車で立たれた方達があつた筈だ。昨夜









財團 高知縣同胞援護會

# ニユース

(青蘭會特集號)

No. 7

昭和24年5月1日發行

發行所

高知市相生町78番地  
財團 高知縣同胞援護會  
(電話826番)  
編集發行人  
高橋正統

そ母なればこそこの熱意

未亡人なればこそ

## 母子會縣連準備會

### 三月三十日村の家會館で

高知縣同胞援護會が提唱する施設なき母子寮「青蘭會」の設置運動は、四國の邊陲土佐の寒村より起り、未亡人たちの立ち上がる希望の道として、今

## 母子會連盟運動のために

事務局長 桂井和雄

戦争中も戦後もその儘に無理強いにされた境遇を持ちついで、世代の痛苦を一身に受けて、肉に苦難の明暮れを過して、目隠しをされたまま、嵐の中を彷徨する母離れたちの姿にも似た未亡人と言ひ哀婦と呼ばれる女性たち、その數百八十八万四千、縣下三万五千と數えられておられますが、これらの方々の聲なき叫び、その日の生活と精神的な問題は、新國家建設途上に横たわる民生安定の上に棄て、置けない敗戦國家の重要問題の一つと思つておられます。

國に生活困窮者のための生活保護法があり母子のための児童福祉法があつたとしても、その適用は一部の人人に限定され、決して世の多くの未亡人たちの心の響になるまでの運用の妙は到底望むべきもありません。児童福祉法はその第二十三條に

市町村長は、保護者が、配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある

ちたいというやむにやまれぬ氣持と、今一段の結束を希望して、高知縣母子會連盟(假稱)結成を準備すべく更に躍進の一步を踏み出した。高知縣同胞援護會は高知縣の協力を得て、児童福祉法施行一週年を記念する行事の一つとしてこれをとりあげ、去る三月三十日高知市「村の家」會館で盛大な結成準備會を開いた。集るもの既設青蘭會長幹部五十名、民生部長以下縣關係者、高知縣會代表、高知市厚生課、

の妻調のきづなに萎縮せしめられた女性たちに對し、新道徳を目ざして立つた女性解放運動の一つでもあるのでございませう。

かくてこの「施設なき母子寮設置運動」は、町や村々の先覺婦人に受け入れられまして、その成果はここに参集していただいた代表者の方々の町々々に、會員相扶け相勵まし、共同事業に授産事業に勞働交換に希望の明日を夢みられ、若い未亡人のためには再婚の道をうち開き、封建性の打破は着々と進められ、その成果はまことに見るべきものがあつまして昨年鹿兒島縣に於ける援護會西日本大會に於いては高松宮殿下に御報告申し上げ、各地の新聞にも取り上げられ、高知縣を發祥の地として本年の二月にいたり援護會の全国的な事業として取上げられるまでに至りました。かくて長崎、鳥取、島根、香川、青森、秋田等高知縣の組織によつて未亡人の解放運動の行われていく縣が續々と現れるようになったのでございませう。

思うに本縣に於ける未亡人の自主的運動は昭和二十一年に私共援護會によつて援助され高知市を中心にして寡婦

高知放送局放送課長、高知縣婦人團體代表の臨席の下に、活潑な意見の交換、縣に對する要望決議などが行われ、豫期以上の成果を収めた。

「知事に代り挨拶をする。若くして荊の道を通つてゐるか弱き女性に與えられた苛酷の運命に苦しむ婦人は、青蘭會の運動で光明を見出した。多くの婦人の中には理性を失ひ倫落の淵に或は力を失つて死を急ぐ者もある。又封建性の下に苦しむ者もあるのを知つて、同じ境遇のお互い同志慰め扶け

相互會の名で暫く活動を續けて参つたのでありますが、人数のみ多くして幹部のみの活動に止まり、會員個々の繋がりには残念ながら失敗した経験を持つてゐるのでございませう。

然しながら町村単位に起つたこの度の運動展開は、會員相互のつながりもよく活動のみるべきもの、あるのはこれから會員代表者たちの御報告によつてもお判り願ふと思ひますが、まだまだこの運動の一般的理解を得るには相當困難なものがあるのでございませう。

こゝに児童福祉法一週年を記念して高知縣の協力を得、既設青蘭會代表者たちが、自らの盛上る聲としておたがいの横の連絡をとるためにこゝに會し青蘭會連盟の自主化、連絡と協力、母子及婦人保護精神の啓蒙をめざし、未設置町村への呼びかけを活潑ならしめ運動展開のために高知縣母子會(假稱)連盟の結成準備會を開くに至つたことは、私の心からの喜びとするのでございませう。母子の苦難解放の曙光は今こゝに明り、町に村に未亡人の行手に希望の生れるよう、今日の日に幸あらんことを祈つてやみませぬ。

あう事が如何に大きな力となるものであるか、それは皆さんの結合によつて明かに説明されつゝある。人權尊重の憲法下ひとり未亡人だけ不幸であることは許されぬ、この會が縣下に續々出来る事は喜びに堪えない、高知縣の青蘭會が全國の模範となるよう自重自愛を祈る。」ついで

橋詰縣會議員より挨拶があり、「日本は封建性の氣風が濃く、十九世紀は女の發見であり二十世紀は子供の世界だといふが子供の爲の施設が少い、児童福祉法施行一週年記念にこの會の活動の期待するものである。女性の犠牲は敗戦の一番の犠牲である、此の世相の中に相愛の手を握り強く子供の爲に生きてほしい、子供は大人の父といふ諺がある、皆の手により封建性の霧がはれ健康にして希望ある母たちの今後の活動を期待する。」

本會理事高崎市女史からは、「日本は全身大火傷を負つたとみるならば一番ひどい部分が未亡人である。上への治療として貰つたのでは忘れられた傷がだん／＼深くなつていく、傷んだきずを自分の力で治そうとする力を見出す事の出来たことを喜ぶ。男女同權とはいふ／＼乍ら一線に立たねばならぬ皆様に無差別ではない、教育でなく薩の連絡をとり力を出し合つて前途に確信をもつて進むことこそ日本女性の眞の解放が實現されるのである。私共の手で戦争を防止し平和を築くよう、その推進力となり日本の爲土佐の名をも挙げ、青蘭會を土台として進發したい、苦しむときこの横の連絡のある事を考え努めてほしい。」

次いで山本高知縣同胞援護會長より別掲の如き激勵の言葉があつて引きつゞき參會者の自己紹介があり協議懇談に移つた。先づ座長に推舉された土居村青蘭會長門田小菊氏座長席に着く。青蘭會活動状況報告並今後の運営について別掲の通り各青蘭會長より活潑な







五月八日母の日「お母さんありがとう」

この日には大人も子供もみんな胸にカーネーションの花をつけよう



縣連結成準備會に於て代表者  
たちは未亡人の立場につき  
左の如く縣に要望した

- 一、未亡人に對する健康保險制度を確立せられたい
- 二、母子に對し母子寮、婦人ホームを増設せられたい
- 三、社會施設を地方にも設置せられたる
- 四、供出數量制當に當り未亡人の窮狀立場を認識され適正に決定せられたる
- 五、未亡人に對する税の賦課はその實情を詳細に調査し適正を期せられたる
- 六、供出報奨物資に未亡人と一般を區別せず同じ努力に對しては同じく報奨をなされたい。尙男の努力に報ゆる物資に代り女性の努力に報ゆる適
- 七、社會保障として未亡人に年金制度を確立するよう中央に具申せられたる
- 八、兒童巡回圖書を町村青蘭會にも廻していただきたい
- 九、母子の教育のために健全なる映画館を設置せられたる
- 十、多勢の子供を抱えた未亡人には學校給食、後援會費等に負擔を感ずる事あり、これに對し自由制或は減免を考へていただきたい

昭和二十四年三月三十日  
高知縣母子會連盟結成  
準備委員會  
右決議する

各地青蘭會活動狀況

縣連結成準備會で發表

長者村(四森文子)  
結成されて一年になる。昨年五月以來引揚復員の出迎え慰問をなし、會員の子弟の中から盲啞學校に四名を世話して入學させた。バザーを開催し共同作業をなし、労働交換により相互の仕事を手助けし、又再婚推進に努めている。將來については事業をやる爲基金をつくりたい、團結を強固にして明朗にしたいと思ふ。

室戸岬町(山下美根)  
會員九十一名、その中で生活保護を受けている者十一名、會員の半数は日傭労働に従事している。賣店や自轉車預り所をして四千圓をあげ各會員に分けた。一人三日間で三百圓づつの割になつた。病氣見舞を実施している。將來

(三)

馬ノ上村(藤戸香)  
昨年十月結成し會員二十八人、内生活扶助を受けている者一名、農業ばかりである。眞綿製品四十枚、書籍、寶くじ四五〇枚賣つて利益を得ずして會員に分けた。映畫券を賣りその収入で會員に映畫を見せた。

吉良川町(松本善女)  
昨年七月結成され會員六十二名、救濟事業として遊藝製作所を設置し九月一日より開始した。これで生きる會員の活動はめざましい、現在十三名の従事

員は生活扶助を返上している。勢こんでも女だけでは難かしい事に突き當る事あり、資金難に直面して苦しい男子の理解が乏しい、他に修養啓蒙等お互いの力で立ち上る事に努めている。大きな仕事は光であり、これからの苦難と希望は生業資金で作った工場である。

在所村(北村春子)  
昨年五月に結成され會員は六十三名、内生活扶助を受けている者は初め五名だつたが現在二名である。この二名は

母の日に寄せて

青き山々  
大いなる空  
しづきする海々  
遠くへだつとも  
母はつねに  
まぼろしに生きて  
ふるさとの  
わが家の庭に  
老いています  
母の日に母の花  
胸に飾りて  
浮かぶ思ひは  
心のふるさと  
母の愛よ  
なつかしきかな  
(桂井和雄氏作)

會の力によると多く精神的に立ち上つてくれた。圖書の回覧を実施し精神的に啓蒙につとめている。購入資金が缺乏して苦しい、在所村には後援會が出来ている。すべての純益は五分を會の基金にして、子女の純血運動をやりたい。

講演會を月二、三回開き修養の糧としたい、會員皆で護國神社に参拜し高知市内の社會事業を視察したいと計畫している。

吉野村(川村行尾)  
現在七十五名、賣店を經營し又學校寄附金募集等に従事した。

安藤町(長崎雪見)  
現在頒布による収入で會員をうるほしている。

別府村(小野壽子)  
現在會員二十名、經濟面は再婚したもから寄附を頂き又復員者より後援會費を貰つた、集會は大抵夜間にしている。そしてその出席率は百パーセントである。

未亡人の願ひは仕事を興えてほしいといふこと。信仰に生きることが未亡人にとつて必要でないかと思ふ。永井先生「この子残して」の氣持を考へる、村内未加入會員の入會申込が増えるのは嬉しいが再婚によつてその數を減ずるのは更に喜びである。

和食村(會長代理筒井富喜)  
物資頒布等をして基金を作り追々事業をやりたいと思ふ、各地の活動の様子を伺つて大變参考になつた。

森村(千頭小史)  
昨年十月結成され一人再婚し現在五十二名の會員である。その中戦争未亡人は三十二名もいる。扶助を受けている者七名、子供は一四〇名である。職業は大抵農業で四十三名である、レベルが低いので精神的に生きるよう指導している。家庭訪問や再婚の推進、又卒業、入學の時の祝品を贈つたりしている。

斗賀野村(森田豊子)  
一月に發會したばかりで今のところ何も事業をしていない。會員は四十名あり、時折講習會をやつてゐる。皆様に歌えていたゞいてやりたい。

夜須町(喜井壽子)  
會員百十四名兒童二百十五名あり、合同葬には主催となつた。この會のあり方について一般町民の理解に感謝している。染色講習會や慰安會を開催した。基金造成の爲、會の店を作り製襪機を購入し會員を働かせている。入學祝

としてお辨當箱を十五名の子供に贈つた。今杉の苗圃計畫中で一反歩の植付をなすべく整地を終つたところである。來年の春、これが十萬圓に賣れるのがいまからの會員の楽しみとなつてゐる。

東川村(高橋喜代美)  
二月に結成されたばかりで會員四十三名兒童六十名、扶助を受けている者四名あり、會の出来たことによつて大きな希望を持った雛節句に懇談會を開き一同會が出来てからの喜びを味わつた。文化生活上として子供雜誌の斡旋をしてゐる。洋裁無料教授を実施し物資頒布によつて利益をあげ基金を得てゐる。

將來技能調査をなし能力を登録し會員相互の福祉をはかりたい。會員の中より將來町村會議員が生まれるよう願ひてやまない。

日章村(入交照子)  
昨年十月結成され現在八十九名あり、内扶助を受けている者四名、兒童百六十四名の子供があり、運動會、學藝會に賣店を開き基金一萬圓を作つた。洋裁の無料講習をなし落雁の作り方講習會、慰安會を開催し先日杉の苗圃を半反歩作つた。將來高知大學に必要とする仕事は總べてこの會でさせて頂きたいと思つてゐる。

伊野町(村井絹子)  
去年六月發足した、有志の寄附により洋裁講習や慰安會をなし基金を作る爲に藝能大會を四月一日に催す豫定である。又青少年不良化防止、兒童福祉法に關する講演會を開きたいと思つてゐる。

鏡村(代理四村初猪)  
本月結成されたばかりでこれから大いにやりたいと思つてゐる。

越知町(大原鯉鮒美)  
昨年八月結成し會員九十一名、内扶助受給者十一名、兒童數百四十一名あり町民生部から二千圓、町豫算から一千圓の寄附、映画開催によつて一万六千圓、その他物資頒布等によつて計二万

子供は母の鏡、母の性格は子供にうつる。



圓の基金がある。病氣會員を見舞い歸還英靈に弔慰金を出し卒業児童十七名にお祝いの品を贈り困窮者の爲には主食購入費を立替えたりしている。去年九月から毎週土曜には洋裁講座を開き、會員は大休農をやつてゐるが紙會社や町授産所に働いてゐる者もある。四月上旬には親睦會をひらく豫定である。

室戸町(代理高橋瀧子)

八月に結成され民生委員の世話で一萬圓を得たのでこれを基金にして養豚を始めた。喫茶店を開業し町授産所のミシンを活用し更生や加工をやつてゐる。神祭や運動會には賣店を開いて純益の割を基金にして他は會員に分つてゐる。

將來アンゴラ兎、羊を飼育し授産所を經營したいと思つてゐる。高知市小高坂區(原典子)

本年成人の日に結成し會員百六名あり。毎週日曜無料洋裁講習をなし内職の爲に手袋の講習もした、これは手取一枚二十圓になる。その他毛糸編の講習をしたり、ミカン水、石鹼の販賣をやつたりしてゐる。現在の授産所が將來發展するよう願つてゐる。又児童文庫を作りたいと思つてゐる。

土居村(門田小菊)

會員四十八名中扶助を受けてゐる者七名、初め十二名もいたが會が出来て七名減つたわけである。児童は九十名いる。扶助金額は一六四〇圓から一四〇〇圓迄である。長男長女を就職させてゐる者十二名あり、内職の輔導として縫製機一合づゝを借受け貸打ちしてゐる。授産會の頒布品を利用して行商してゐる。來年は苗圃を作りたいと思つてゐる。

婦人ホーム

子供の家落成

事務局長の裏に瀟洒なそして明るい婦人ホーム、並に併設子供の家が新築された。南向の八疊十疊が子供室婦人室二

間、食堂、應接室、職員室等、木の香も新しく見るからに清潔な明るい家である。総工費七十六萬圓。これは児童福祉法による満十八才迄の女子と生活保護法による更生の見込ある四十才迄の婦人のための慰いの家である。

青蘭會のために

事務局長の動き

(自十二月至四月)

十二月十三日 斗賀野村(結成式)

桂井局長海路主事補、前田主事補

十二月二十日 加茂村(結成準備)

前田、西尾兩主事補

一月十日 夜須町(結成式) 桂井局長、前田主事補

一月十五日 市小高坂區(結成式)

馬場副會長、桂井局長、高橋課長、前田、西尾兩主事補

一月三十一日 馬ノ上村(懇談會) 高橋課長、西尾主事補

二月四日 東川村(結成式) 桂井局長、前田主事補

二月八日 神谷村(結成準備) 前田主事補

二月十三日 赤野村(結成準備) 西尾主事補

二月十四日 西分村(結成準備) 西尾主事補

二月二十二日 日章村(總會) 桂井局長、前田主事補

三月五日 夜須町(役員會) 西尾主事補

三月十八日 大杉村(結成式) 桂井局長、前田主事補

三月二十五日 鏡村(結成式) 桂井局長、前田主事補

四月十三日 夜須町(苗圃指導) 久野囃

四月十八日 川内村(結成式) 桂井局長、高橋課長、前田主事補

四月二十日 夜須町(活動狀況視

察) 前田、西尾兩主事補  
四月二十七日 加茂村(結成式) 桂井局長、高橋課長、前田主事補

その後の代表

者の聲

此の度は川渡青蘭會より四名も出席致しましていろいろと御迷惑をおかけ致しました。おかげ様で恵まれた数日を過ぎさせていただきましたことを厚く感謝致しております。何もかも苦しみを忘れさせていただいた楽しい数日ございました。出席出来なかつた他の會員の皆様にも本當にすまなく思つております。こんなにも私たちが未亡人の力になつていただけたと思つてますと新たな勇氣が生まれてくるように思います。これから又精出して働きました。次の集いを楽しみに待つております。

別府村 小野壽子

はじめにお目にかかつた方々も何だか昔からのお友達のように思われまして一日も早く私共の團體である母子連盟が生まれますよう、縣下の村に町に青蘭會が一つでも多く生まれますよう協力させて頂きたい存じます。

東川村 高橋喜代美

先生方の御力によりまして今後の私たちが必ず光明の彼岸に近づくと嬉しく此の會に大きな期待を持つて居ります。私は婦人會の方のお世話も致して居りますが、青蘭會の方が眞剣で又知識も高いと存じます。

多難な前途に備えるにはまだ、私達の力は余りにも貧弱でございます。一日も早く未設置町村へ呼掛けまして数を増した村から町から縣へ國へと要望の聲を大きくしてゆきたいものでございます。

森村 千頭小史

何かにつけましてもすぐ沈みこんでしまいがちな私共の背負わされたこの大きな哀しみと一生懸命戦つております

私たちはあの日遠く東西から多数集つて來られました皆々様の御日常をお伺い出來まして又一層の力を得ました事を本當にうれしく存じます。自分程不幸な者はないと、この大きな苦しみに負けそうなる時々ございましたがこの頃では私などまだ、幸せな方である事が分り、毎日感謝の生活の出來るようになりました事を有難く存じております。

東川村 山崎郷子

本當に思いがけない楽しい意義深い二日でございます。心から打とけ合つて何の遠慮も氣兼ねもない同じ境遇の方々の集つた一夜の宿泊、涙の出る程笑つたあとに心の中を幾年ぶりにみまほされた感じがいたしました。年上の方々からは又数々の教訓をうけて本當に嬉しく心を新しくし新しい力の感上る感じが致しました。

馬ノ上 藤戸 香

何分にも會に始めて参りましたような私でございます。皆様の御体験其の他有意義なるお話を伺い自分の力なきを心から恥じました。私はあれほど迄に會の向上隆昌に力を致してはいます皆様の御心に涙の禁ざざるを得ませんでした。向南寮の合宿はとて明朋で當村會員の皆様にあの氣分にひたせられたかつたといつても思ひ出になります

土居村 門田小菊

青蘭會の文化叢書  
授産會の文化叢書  
桂井事務局長著詩集「わが齡滴る緑の如くなれば」(頒布百六十圓)これは既設青蘭會の運営資金の一部として一部に今回竣工した本會の婦人ホーム(併設子供の家)の新築費助成のために近く送本する豫定ですからお待ち下さい。

清冽なニュー・マニズムと暖いロマンチズムの交錯した詩篇四十三篇を収め、國展審査員山脇信徳畫伯裝幀の總和紙の美麗な詩集でございます。續いて、児童讀物として「土佐郷土童話物語」大人の讀物としての「土佐方言小説」が本會の社會事業啓蒙と文化事業をかねて、同じ著者によつて上梓される豫定でございます。

点描

二十九日各青蘭會長らの市内施設視察の様子

マリア園を辭した時皆の瞳は濡れていて、可哀そうで胸がつかまつてものが云えないと。或會長は泣く、子供を捨てる親の氣持がわからぬ。身を粉にして、も子供の爲にと強く生きてゐる私共なのに、凡そかけはなれた心持をもつ母性が世にある事を今更ながら知つたと會長さん達の慨嘆である。

ある母子寮を見學して

破れた四疊半に母と子が而も二世帯住んでゐるときの會長さん達。暫し啞然たる様子であつた。一年中戸を閉めきつて使わぬ御自分達の村の家が隣裡をかすめたらしい。

向南寮の一夜

女學校の寄宿舎以上と思われれる賑やかな向南寮の夜。青疊の上に敷きつめられた毛布の薄さ等苦にもならない會長さん達。明日への緊張も解けて今宵はは寮に許された自由の世界である。誰憚らぬ追憶が次々と展開され珍且つ妙、抱腹絶倒の渦巻に日頃の鬱憤を吹きとばすと共に一夜にして同宿の寮婦を完全に一つに陸合せてしまつた二つ飛ぶ蝶をみても腹が立つと或會長が吐けどどと溢れる洪笑の波。笑いに紛らす冗言も寮婦に共通せる心情を吐露したもののがわかれる。蝶にまで無限のうらみを感じず。これが寮婦の眞情だ。

我を信する此の小さき者の一人を躓かす者は、寧ろ大なる硬白を頸に懸けられ、海の深處に沈められんかた益なり (マタイ傳)



高同援第一五六號

昭和二十四年六月九日

恩賜高知縣同胞援護會

會長 山本義孝

高知軍政部厚生課長殿

月報提出の件

本會施設關係五月分月報別紙、通り報告

いたしませう

*Monthly Report of Robo Engei Ken*

司義目氏

第二號

恩賜高知縣同胞援護會



昭和二十四年五月分施設収入支出明細書

高知縣同胞援護會

施設名	収入	支出	説明		内容	収容人員	職員数
			収入	支出			
母子寮	一三、七、六〇	一、二、四、九、四〇	保護費(四、五、六、月分) 一三、〇、一、七、六〇	人件費 六、六、八、五、〇 施設費 三、四、七、九、〇 慰労費 一、三、三、〇、〇	母子收容 七、七、名	寮母 一名	
保育園	六三、四、九、〇、六	三三、六、〇、九、五、二	保護費(四、五、六、月分) 一七、四、四、九、〇、六 保育入園料(四、五、月分) 四、六、〇、〇、〇	人件費 二、七、九、二、五、二 需用費 五、五、〇、〇、〇 事業費 二、六、九、〇、〇、〇 施設費 二、九、三、五、〇、〇	幼 一、二、八、名	園長 一名 保母 四名	
婦人ホーム		九、一、一、〇、〇		施設 九、一、一、〇、〇	身寄りの 乃婦人		指導員兼 保母 一名
一時宿泊所		一五、九、四、三、一〇		管理費 八、七、〇、九、五、〇 維持費 七、二、三、三、六、〇	升場復員 者一時 泊		管理人 一名 怒住 一名
仁井田收容所					共同住宅	一、五、名	管理人兼 一名
庶民住宅	七、四、〇、〇		五月入家賃 七、四、〇、〇		同 右	四、七、名	管理人兼 一名
生活相談所					生活相談	六、五、件	部員兼 二名
三里愛童園		一、二、二、一、四、一、四		人件費 二、九、八、九、五、〇 燃料 八、六、九、三、六、四 事業費 五、三、一、〇、〇	孤児收容 保護	九	保母 一名 兼 一名
子供の家		二、二、三、六、三、四、一		人件費 一、二、二、三、一、七、五 施設費 四、八、一、一、五、〇 事業費 一、三、九、四、〇、〇 材料 三、九、二、六、一、六	同 右	六	保母 二名
計	八三、八、六、六、六六	一〇、四、七、三、四、一七					







在園費一部免除兒童數  
 在園費全部免除兒童數

計	棄兒	被虐待兒	貧困兒	浮浪兒	孤兒	種別	兒童		昭和三十四年六月一日
							現存	前月	
三六	-	=	=	=	=	一	員	員	報告者
	減	增	減	增	減	增	員	員	三里愛護園長
三六	-	=	=	=	=	-	員	員	江川義清
	減	增	減	增	減	增	員	員	月介
							別	性	
							1	男	
							2	男	
							3	男	
							4	男	
							5	男	
							6	男	
							7	男	
							8	男	
							9	男	
							10	男	
							11	男	
							12	男	
							13	男	
							14	男	
							15	男	
							16	男	
							17	男	
							18	男	
							19	男	
36							計		

養護施設收容兒童數月報 五

三里愛護園長 江川義清

月介

備考





昭和24年5月份保育月報

責任者印

園名		三里保育園				定員	132	名	保育日数	22	考
格別	区別	前月末 在籍人員	本月中 入園	本月中 退園	本月末 在籍人員	出席延数	欠席延数	皆欠名	備	考	
法二十四條 該當者	經費無能力兒	男	8+(13)	(1)	0	8+(14)	173+(300)	3+(18)	0	は半見見計三十四人 至費無能力兒全見見計〇人(一) 出席百分比 94%	
		女	12+(12)	0	(2)	12+(10)	233+(210)	31+(10)	1		
		計	20+(25)	(1)	(2)	20+(24)	406+(510)	34+(18)	1		
	經費有能力的兒	男	33	0	1	32	687	17			
		女	31	0	2	29	588	50			
		計	64	0	3	61	1275	67			
自由契約兒	男	13	0	0	13	259	27				
	女	10	0	0	10	213	7				
	計	23	0	0	23	472	34				
總在籍兒	男	67	(1)	1	67	1419	55				
	女	65	0	(4)	61	1244	98	1			
	計	132	(1)	5	128	2663	153	1			



ちびさ寮事業概況書

昭和24年5月

寮母 西尾雅子

先月末在寮		看護人員	7名	在寮者状況(子)	2才以下	0
本月中退寮		看護人員	ナシ		6才以下	1
本月中入寮		看護人員	ナシ		7才以上	4
現在収容		看護人員	7名		13才以上	3
在寮者 (母親)	種別	戦災	0	保護状況	医療扶助受給者	2
		引揚	0		生活扶助受給者	2名
		留守宅	1		扶助金総額	4363円
		離婚	1	退寮者	結婚せし者	0
		遺族	5		他の施設へ移入者	0
		その他	0		自立せし者	0
就職状況	外勤	4	その他	0		
	内職	3	合計	0		
現況	学歴	高小卒以上	4	本月中収容実人員	17人	
		実女卒	2	月末迄収容延人員	14024人	
		高小卒	1	本月中収容者平均収入額	3072円	
		小卒	0	本月中収容者平均貯蓄	1265円	
備考						







5月分事業報告表 高知縣同胞援護會 相生所 授産所						
1) 全録收支明細表						
收 入			支 出			
種 目	数量	金額	種 目	数量	金額	
洋裁部		6,800.00	職員給		17,915.00	
ミミ部		20,771.00	事業費		370.00	
算路部		2,500.00	備后費		140.00	
			工賃		16,149.00	
			材料費		932.70	
			修繕費		300.00	
			雜費		2,105.26	
計		40,071.00			39,935.06	
備 考						
2) 作業人員数						
作業 定員	場内	7人	男 - 計 7人	場内	124人	男 - 計 124人
	補導生	58人	男 - 計 58人	補導生	490人	男 - 計 490人
	場外	5人	男 - 計 5人	場外	計 4人	男 - 計 4人
	計	70人		計	614人	
3) 作業員、收入						
最高 653.60		最低 490.00		平均 2,056.25		
4) 作業人員分類						
引揚者 24人		野食者 18人		留守電卓 其他 29人		
				計 70人		







	工 賃	100,235.40
	雜 費	14,269.20
合 計	合 計	401,979.90

(2) 一人一日平均工賃 116.00

(3) 作業人員數					(4) 作業員收入			
作業員	男女別	女	男	計	延人員	最 高	平 均	最 低
通勤者	19	14	33	898				
家庭作業	9	41	13	299		5,671.00	3,011.00	1,950.-
計	28	18	46	1,197				

備考 女月病氣其他勤務セザル者(3名)

(5) 作業人員分類								計	
通勤	引揚	10	被災	13	復員	2	其他	8	33
其他	〃	6	合上	5	合上	0	合上	2	13
計		16		18		2		10	46

(6) 職員數 8名

調査員 菅原 幸子 地村 下 村

昭和二十一年三月調査報告書

新井 井上 年一



高知縣同胞援護会委託加振考所  
5月分事業報告 代表者 吉良隆俊

(1) 金銭収支明細表

費目	数量	金額	費目	数量	金額
前月繰越金	足	35966.25	職員給		31004.25
芯線加工賃	291400	349680.-	事務費		650.-
			電話料		1200.-
			事務用消耗品		734.-
			芯線加工賃		233120.-
			指導費		0
			薬品代		1250.-
			運送費		690.-
			運賃		7366.-
			備品		4535.-
			雑費		565.-
			援護会対加振附金		43710.-
			出張旅費手当		32000.-
計		385646.25	計		356824.25

(2) 作業人員数

作業実人員	場内			場外			作業実人員	場内			場外		
	女	男	計	女	男	計		女	男	計	女	男	計
	6	3	9	186	4	190		182	7	189	465	107	572
計	192	7	199				計	487	17	504	475	117	592

(3) 作業の収入

最高	4217 <sup>円</sup>	平均	1165 <sup>円</sup> .60	最低	55.-
----	-------------------	----	-----------------------	----	------

(4) 作業人員分類

引揚者	43	戦後者	91	留付定率	12	その他	53	計	199
備考	剰余金 28822 <sup>円</sup> - は事業資金として翌月へ繰越す								



5月分事業報告書

所授産三託會護授抱  
代表者氏名北川 幹 印

① 金銭收支明細表

収入		支出	
種目	数量	種別	数量
縫製加工部	13.710.00	職員給	4人 19.055.00
洋裁補導部	7.000.00	事務備品	
花緒部/0.400足	7.115.00	消耗品	450.00
預金利子		事業指導費	
雑収入		消耗品	電氣設備 788.00
		備品	材料 400.00
		花緒工料	10.400足 6.595.00
		材料費	3.203.25
計	27.825.00	計	28.691.25

備考

② 作業人員数

作業実人員	場内			場外			計		
	女	男	計	女	男	計	女	男	計
作業実人員	1人	3人	4人	20人	90人	110人	20人	90人	110人
補導生	32人	人	32人	人	人	人	人	人	人
場外	20人	人	20人	人	人	人	人	人	人
計	53人	3人	56人	20人	90人	110人	20人	90人	110人

③ 作業の収入

最高 6.530円 平均 4.260円 最低 3.035円

④ 作業人員分類

引揚者 5人 被災者 3人 貴家族 4人 其他 44人 計 56人  
4月分場外 48人は農期其他の理由に休業現在 20人



### 商品領布5月久報告書

群馬高知縣同胞援護會領布計

主件 係

昭和24年5月1日商品在庫 32,733個 5袋260箱 249,062.56

内訳	雑貨	27,289個	123,792.70
	金物	1,786	86,717.36
	陶器	3,658	36,506.19
	食料品	5袋260箱	2,051.40

昭和24年5月中商品仕入 4,463個 79斤 157,925-

雑貨	3,702個	117,134-
金物	478	25,421-
陶器	283	9,628-
食料品	79斤	7,742-

昭和24年5月31日 5月中商品仕入 37,196個 5袋260箱 79斤 406,987.56

(売上部)



昭和24年5月31日 5月中商品売上高  
 37.196.000  
 5月26日  
 77年

¥. 406.987.56

(売上9部)

商品売上高	2.512個 47年20日 5月26日	¥ 84.572.10 (利益)	¥ 11.414.20
雑貨	2.152個	¥ 65.019.60 (利益)	¥ 7.468.20
金物	154"	¥ 11.509.00 (")	¥ 1,073.50
陶器	106"	¥ 2,723.50 (")	¥ 385.50
食料品	47年20日 5月26日	¥ 5,020.00 (")	¥ 394.40
		¥ 300.00 (")	¥ -1,751.40
10年生活援護会			¥ 3,824.00

註

¥ 84.572.10 + ¥ 3,824.00 = ¥ 88,396.10	(商品売上高)	(10年生活援護会)	(合計表合計金額)
¥ 88,396.10 - ¥ 76,981.90 = ¥ 11,414.20	(合計表合計金額)	(売上原価)	(純利益)

- ① 全工中生活困窮者に対する頒布  
 16日 670套 ¥ 12,904.00 負担11差額 3,824.00
- ② 全工中青南会に対する貸与品  
 2日 740套 ¥ 18,368.00



$$\text{¥ } 88,396.10 - \text{¥ } 76,981.90 = \text{¥ } 11,414.20$$

(合計表合計額) (改正後) (純利益)

① 全中中生活国営者に対する頒布  
 16品 670套 ¥ 12,904.00 負債+差額 3,824.00

② 全中青南会に対する貸与品  
 2品 742套 ¥ 18,368.00

昭和24年5月31日 商貨在庫

34,784個  
 31年140個

¥ 333,238.96

雜貨 28,837個

¥ 183,383.30

食料 2,110 "

¥ 101,134.86

陶器 3,835 "

¥ 45,097.10

食料品 3/年140個

¥ 3,123.70





DOBO ENGO KAI (NATIONAL RELIEF ASSOCIATION)

30 July 1948

Visited the Dobo Engo Kai Kochi Branch Office to inquire about the new unds raising policy which was left to each Branch Officer to decide whether they would adopt the policy to affiliate with the Community Chest or have their own membership funds drive.

The decision was reached after careful study of the case by 12 Standing Committee in which the Branch Officer is also a member to affiliate with the Community Chest. The new policy was submitted in person by one of the staff who attended the National Headquarters' Regular Meeting in Tokyo on 13 July as they were instructed to submit the decision on or by 20 July. The decision was reached due to the fact that it would be difficult to raise funds at present day living condition. However, if there is any, they will accept any volunteer individual donation.

THEIR ACTIVITIES

## 1. Temporary Housing

There are 50 barracks where they could accomodate 340 families. In order to rent the room applicants must submit the application for rent,,then the committee investigate the case to decide the priority. By the permission of the Prefecture they charge ¥ 150.00 a month rent.

## 2. Vocational Traning Centers

Six centers at present

## 3. Distribution Center

## 4. Mothers' and Children's Home

One home and 21 famililes

## 5. Noursery School

## 6. Women's Home

## 7. Temporary Room Service for returning soldiers

## 8. Old Ages' Home

## Financial Receipt for 1947

¥ 330.000	-----	the Community Chest
¥ 1690.000	-----	Membership Funds Drive
<hr/>		
¥ 2020.000		

*George Yamashita*



Details on income and expense for April 1949 --- Kochi-ken Comptroller

Name of institution	income	expense	Explanation	
			Income	expense
Mother & Child Home	14,671.20	46,644.10	Grant for Jan. Feb. & March 14,671.20	Personal affairs expense 6,603.10 Equipment expense 39,741.00 Entertainment expense 300.00
Nursing House	22,180.28	25,944.80	Grant for March 13,940.28 Nursing fee 8,240.00	Personal affairs expense 24,419.80 Demand expense 1,525.00
Womens' Home		307,438.92		New establishment exp. 269,234.92 Personal affairs exp. 12,524.00 Equipment exp. 25,680.00
Temporary Lodging House		52,865.76		Management expense up maintenance expense 44,476.06
Niida Taking-in House				
Citizens' House	8,800.00	80,800.00	House rent 8,800.00	Equipment expense 80,800.00
Livelihood Consultation Office				
Misato Children Home	59,434.84	13,054.06	Grant (Jan. Feb. March) 59,434.84	Personal affairs exp. 2,931.90 Board-charge 8,600.16 Demand expense 1,522.00
Childrens' House		24,532.00		Personal affairs exp. 12,524.00 Fire insurance 11,100.00 Equipment expense 908.00
Total	105,083.32	551,279.64		



for April 1949 --- Kochi-ken Compatriots Assistance Association

	Explanation		Undertaking	
	Income	expense	object denomination	number of persons taken in / number of officials
10	Grant for Jan. Feb. & March 14,671.20	Personal affairs expense 6,603.10 Equipment expense 39,741.00 Entertainment expense 300.00	Protection of mothers & children	8 families 19 persons Home-mistress ... 1
80	Grant for March 13,940.28 Nursing fee 8,240.00	Personal affairs expense 24,419.80 Demand expense 1,525.00	Nursing of infants	House-master ... 1 nurse ... 2
92		New establishment exp. 269,234.92 Personal affairs exp. 12,524.00 Equipment exp. 25,680.00	Women without relation	Instructor & nurse ... 1
76		Management expense 8,389.70 maintenance expense 44,476.06	Temporary putting-up of repatriates and demobilized	Manager ... 1 waiter ... 1
			Joint residence	15 families manager ... 1
00	House rent 8,800.00	Equipment expense 80,800.00	- do -	49 families manager ... 1
			Consultation over livelihood	84 cases official ... 2
06	Grant (Jan. Feb. March) 59,434.84	Personal affairs exp. 2,931.90 Board-charge 8,600.16 Demand expense 1,522.00	Protection of orphans	9 persons nurse ... 2
00		Personal affairs exp. 12,524.00 Fire insurance 11,100.00 Equipment expense 908.00	- do -	nurse ... 2
64				



Monthly report on nursing for April 1949

Name ... Misato Nursing House

Capacity ... 132 persons

Days of nursing ... 19 days

Treatment Disposition	Classification		Number of children registered at end of last month	New comers (this month)	Withdrawn children (this month)	Number of children registered at end of this month	Number of presence	Number of absence	Absentee	Remarks
	Sex									
Those falling under the stipulations of Article 24	Children unable to afford charges	male	5 (3)	3 (10)	0	8 (13)	150 (246)	2 (1)	0	1. Children unable to afford charges total 20 (full exemption children) 2. Half exemption <sup>children</sup> (in brackets) total 25. 3. Figures in brackets in the columns of presence and absence indicate half exemption
		female	6 (5)	6 (7)	0	12 (12)	207 (220)	21 (8)	1	
		total	11 (8)	9 (17)	0	20 (25)	357 (466)	23 (9)	1	
	Children able to afford charges	male	4	29	0	33	610	17	0	
		female	4	27	0	31	550	39	0	
		total	8	56	0	64	1,160	56	0	
Children subject to free contracts	male	13	0	0	13	239	8	0		
	female	6	4	0	10	182	8	0		
	total	19	4	0	23	421	16	0		
All children registered	male	25	42	0	67	1,245	28	1	percentage of presence 96%	
	female	21	44	0	65	1,159	76	0		
	total	46	86	0	132	2,404	104	1		



高同援第一二二号

昭和二十四年五月十日

恩賜 高知縣同胞援護會

會長 山本義孝

To: Public Welfare Section Chief

From: Yoshitaka Yamamoto,  
president of Koshi-Ben  
sympathists association.

高知軍政部厚生課長殿

月報提出の件

本會施設関係四月分月報別紙の通り報

告いたしませう

Monthly report (for April) on institutions conducted by

the Koshi-Ben Sympathists Assistance Association.

司義月氏

第二號

恩賜 高知縣同胞援護會



昭和二十四年四月分施設収入支出明細書 高知縣同胞援護會

Details on income and expense for April 1949. Kagoshima Prefecture Mutual Aid Association

施設名 Justification	収入 income	支出 expense	説明 Explanation		事業内容 Business Content		
			収入の部 Income part	支出の部 Expense part	内容 Content	職員数 Staff count	
母子寮 Mother and child dormitory	10,671.20	46,644.10	保護費(二三月分) 14,671.20	人件費 6,605.10 施設費 3,701.00 慰問費 3,000.00	母子收容 八市帯 一九名	寮母 一名	
保育園 Nursery	22,180.28	25,944.80	保護費 13,940.38 (三月分) 保育料 8,239.90	人件費 24,491.80 需用費 1,553.00	幼児 保育	園長 一名 保母 二名	
婦人ホーム Women's home		3,074.38		新築費 2,691.23 人件費 1,252.00 施設費 2,568.00	身寄りの 婦人	指導員 一名	
一時泊泊所 Temporary lodging		5,286.57		管理費 8,389.70 維持費 4,466.66	引揚復員 者一時 泊	管理員 一名 給仕 一名	
仁井田收容所 Nishiihara reception					共同住宅	管理員 一名	
庶民住宅 People's housing	8,800.00	8,800.00	家賃 8,800.00	施設費 8,800.00	全 右	管理員 一名	
生活相談所 Life consultation					生活相談	相談件数 八件	部員 事務 二名
三里愛童園 Sanzu Children's Garden	5,943.84	13,540.06	保護費(一三三) 5,943.84	人件費 2,931.90 敷費 8,608.16 敷用費 1,522.00	孤児收容 保護	保母 二名	
子供の家 Children's home		24,532.00		人件費 12,534.00 火災保険 11,000.00 設備費 9,800.00	全 右	保母 二名	
計	105,863.22	55,279.64					



昭和24年4月分保育月報

責任者印 龍

園名 三里保育園		定員 132名				保育日数 19日		備 考		
指定別	区別	前月末 在籍人員	本月中 入 園	本月中 退 園	本月末 在籍人員	出席延数	欠席延数	出欠児名	備 考	
法二十四條該當者	經營無能力児	男	5 (3)	3 (10)	0	8 (13)	150 (246)	2 (1)	0	1. 經營無能力児は全免二人 2. 半免(一)内数字計二十五人 3. 出席欠席(一)内半免の数字
		女	6 (5)	6 (7)	0	12 (12)	207 (220)	21 (8)	1	
		計	11 (8)	9 (17)	0	20 (25)	357 (466)	23 (9)	1	
	經營有能児	男	4	29	0	33	610	17	0	
		女	4	27	0	31	550	39	0	
		計	8	56	0	64	1,160	56	0	
自由契約児	男	13	0	0	13	239	8	0		
	女	6	4	0	10	182	8	0		
	計	19	4	0	23	421	16	0		
統在籍児	男	25	42	0	67	1,245	28	1	出席百分比 96%	
	女	21	44	0	65	1,159	76	0		
	計	46	86	0	132	2,404	104	1		